

# 入学試験問題 参考解答集 2020



- 04 2021年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)
- 06 2020年度入学試験結果データ
- 15 総合型選抜入学試験[専願型]の学科・コース別出題内容
- 25 実技
  - 26 小論文
  - 32 デッサン
  - 36 水彩画
  - 43 油彩画
- 51 教科科目
  - 52 英語
  - 62 国語
  - 68 数学
- 72 教科科目解答

## 入学者の受け入れ方針（アドミッションポリシー）

東北芸術工科大学は、「藝術立国」という理念のもと、“人と自然を思いやる想像力と、社会を変革する創造力を身につけ、自らの意思で未来を切り開くことができる人材の育成”を教育目標としています。芸術学部及びデザイン工学部の入学者選抜では、それぞれの専門領域に即して多面的・総合的に評価するために、次の観点から入学希望者を募集します。

- ① 芸術やデザインに興味と熱意を持つ人
- ② 高等学校までの学習および経験により培われた基本的な知識を持ち、主体的に学修できる人
- ③ 社会に興味を持ち、仲間とともに切磋琢磨して成長できる人

### 芸術学部

芸術は、美を求める純粋な心と知に基づくものであり、人々に夢や希望を与え、新たな価値を生み出す力があります。多様性を学び取る柔軟な姿勢と、自らの創造力や感性を粘り強く磨き続ける意志を身につけ、芸術の力を社会の真の豊かさに向けて活かそうとする入学希望者を求めます。

### デザイン工学部

デザインとは、見た目を装飾するだけでなく、今や「デザイン思考」として、人間社会の改善や進化に必要な不可欠な技術となっています。自己表現や趣味にとどまらず、広く社会をイメージし、何のためにデザインを活用するべきなのか。モノやコトに対するデザインを学び、社会に積極参加しようとする入学希望者を求めます。

## 2021年度 東北芸術工科大学 入学試験一覧(予定)

|                          | 総合型選抜入試【専願型】   |      | 総合型選抜入試【併願型】   |      |   |   |
|--------------------------|--|------|--|------|---|---|
| 出願登録期間                   | 2020年9月16日(水)～30日(水)   | 募集人員 | 2020年11月16日(月)～27日(金)  | 募集人員 |   |   |
| 試験日                      | 10月10日(土)または10月11日(日)<br>※学科・コースにより実施日が異なります。  |      | 12月13日(日)  |      |   |   |
| 合格発表                     | 11月2日(月)   |      | 12月23日(水)  |      |   |   |
| 入学手続締切(第一次)<br>※入学金納付期限  | 11月16日(月)  |      | 2021年1月13日(水)  |      |   |   |
| 入学手続締切(第二次)<br>※授業料等納付期限 | 12月18日(金)  |      | 2021年2月19日(金)<br>※申請により最長で3/25まで延納が可能                        |      |   |   |
| 試験会場                     | 山形   |      | 山形/東京/札幌   |      |   |   |
| 美術科<br>日本画コース            | ①提出作品(当日持参) 水彩画2枚、鉛筆素描2枚<br>②写生 敷地内の決められたエリア内で各自、自由に対象を探して写生(5時間)<br>③面接(1グループ2～3人で行います) 上記の提出作品のほかにも自己アピールのための作品を持ち込むことが可能  | 79   | 面接・書類審査 ※1<br>+<br>次から1科目:<br>「水彩画」 ※3<br>「油彩画」 ※4<br>「デッサン」 | 40   |   |   |
| 美術科<br>洋画コース             | ①提出物(当日持参) 作品(これまで制作した作品数点)、ポートフォリオ(作品写真5点以上を一冊にまとめて作成)<br>②「油彩画」制作<br>③面接(1グループ2～3人で行います)   |      |  |      |   |   |
| 美術科<br>版画コース             | ①提出物(当日持参) 作品(これまで制作した作品数点)、自己アピールファイル(作品写真5点以上、これまでの活動や興味のあることについて一冊にわかりやすくまとめて作成)<br>②授業形式の版画制作体験(銅版画、木版画の制作)<br>③面接   |      |  |      |   |   |
| 美術科<br>彫刻コース             | ①提出物(当日持参) ポートフォリオまたは作品(両方持参可)<br>②彫刻制作の体験 粘土で自分の顔を模刻<br>③面接   |      |  |      |   |   |
| 美術科<br>工芸コース             | ①提出物(当日持参) ポートフォリオまたは作品(両方持参可)<br>②ステンボードを使った立体造形の制作体験<br>③面接  |      |  |      |   |   |
| 美術科<br>テキスタイルコース         | ①提出物(当日持参) ポートフォリオまたは作品(両方持参可)<br>②数枚のTシャツを使った立体造形の制作体験<br>③面接   |      |  |      |   |   |
| 美術科<br>総合美術コース           | ①提出物(当日持参) 自己アピールファイル(これまで興味を持ってやってきたことや作品についてまとめたもの)<br>②人と社会をアートでつなぐ活動を考える体験演習<br>③面接  |      |  |      |   |   |
| 文芸学科                     | ①提出物(当日持参) 自己アピールファイル(これまで興味を持ってやってきたことや作品についてまとめたもの)<br>②創作体験 グループ単位で昔話をリライト(書き換え)する体験型演習を受講<br>③作文 ②で行ったグループワークについて執筆(400字程度)<br>④面接   |      | 22   |      |   | 7 |
| 文化財保存修復学科                | ①提出物(事前提出) 自分の住む区市町村に関連し、興味を抱く文化財、美術作品や作家について自身の考えをまとめた1,200字程度の文章(様式不問)、出願書類に同封して提出<br>②ミニ講義「地域文化財の保存と修復」を受講<br>③面接   |      | 13   |      | 面接・書類審査 ※1<br>+<br>次から1科目:<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」 ※3<br>「油彩画」 ※4<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」 | 3 |
| 歴史遺産学科                   | ①提出物(当日持参) テーマから1つを選び、ファイルやスケッチブック、模造紙等を用いて発表資料を作成し、面接当日に持参して、その内容を面接冒頭に3分程度で説明<br>テーマ:(a)身近な歴史遺産散策 (b)自己PR<br>②面接   | 13   |  | 6    |   |   |
| プロダクト<br>デザイン学科          | ①プロダクトデザイン体験(身のまわりのモノを取り上げて、優れた点や改善すべき点をグループで話し合う)<br>②面接  | 32   |  | 13   |   |   |
| 建築・環境<br>デザイン学科          | ①提出物(当日持参) 自分が学びたいと考えている建築や環境について、図、絵や写真などを使ってまとめたファイル[リサーチファイル]<br>②建築や環境に関するミニ講義(講義を受講した後、ミニレポート[講義シート]を提出)<br>③面接   | 20   |  | 14   |   |   |
| グラフィック<br>デザイン学科         | ①提出物(当日持参) 自己アピールのための「プレゼンテーションファイル」これまでの部活動や社会活動、自分らしい取り組みをまとめ、他人に自分の特徴を理解してもらうためのファイル<br>②模擬授業 テーマに基づき、グループに分かれて簡単なディスカッション<br>③面接   | 41   |  | 14   |   |   |
| 映像学科                     | ①提出物(事前提出) (a)～(c)のテーマから一つ選び、課題を作成。テーマ:(a)動画作品[実写・アニメーション・CG等]<br>(b)平面作品[写真・イラスト・絵画等] (c)最も影響を受けた作品についての1200字程度の文章[様式不問]<br>※(b)のみ当日持参<br>②創作体験 3つのキーワードから理想したストーリーを、アイデアスケッチとともに文中にそのキーワードを入れて600字以内に表現<br>③面接 | 32   |  | 14   |   |   |
| 企画構想学科                   | ①提出物(当日持参) 自己アピールシート[これまで取り組んできた活動をまとめたシート(A4片面4枚以内)]<br>②ミニ講義(次の課題解決型ワークショップの進め方に関する講義)<br>③課題解決型ワークショップ(提示された課題に対して、グループに分かれて企画を考え発表)<br>④面接   | 26   |  | 10   |   |   |
| コミュニティ<br>デザイン学科         | ①課題図書(事前に読んでうえて、入試に臨む)『ふるさとを元気にする仕事』山崎亮著・ちくまプリマー新書<br>②体験型演習「地域課題を解決し、幸せな社会をつくるためのアイデア会議」<br>コミュニティデザインの手法を用いた地域課題解決型のワークショップ<br>③レポートの作成(アイデア会議終了後、各自でレポートを作成)<br>④面接   | 16   |  | 6    |   |   |

※1「書類審査」とは、「高等学校調査書」及び「出願書類」による総合評価です。 ※2 募集人員は、一般選抜入試(前期)、大学入学共通テスト利用入試(1科目利用)及び(2科目利用前期)を合算したものです。

※下記の内容は、2020年4月1日現在の予定です。詳細は、「東北芸術工科大学 2021年度 学生募集要項」で必ず確認してください。

| 一般選抜入試<br>【前期】  | 大学入学共通テスト利用<br>入試【1科目利用】   | 大学入学共通テスト利用<br>入試【2科目利用 前期】 | 一般選抜入試【専願型】  | 一般選抜入試<br>【後期】                | 大学入学共通テスト利用<br>入試【2科目利用 後期】                      |                       |
|---|--|-----------------------------|--|-------------------------------|--|-----------------------|
| 2021年1月6日(水)～22日(金)   |  | 2021年1月6日(水)～25日(月)         | 2021年1月6日(水)～15日(金)                                  | 2021年2月22日(月)～3月8日(月)         |  |                       |
| 1月31日(日)  |  | 個別試験なし                      | 1月31日(日)   | 3月15日(月)                      | 個別試験なし   |                       |
| 2月12日(金)  |  | 募集人員<br>※2                  | 2月12日(金)   | 3月20日(祝・土)                    |  |                       |
| 2月26日(金)  |  |                             | 2月26日(金)   | 3月25日(木)                      |  |                       |
| 3月5日(金)<br>※申請により3/25まで延納が可能  |  |                             | 3月5日(金)  |                               |  |                       |
| 山形／東京／札幌／仙台   |  |                             | -  | 山形                            | 山形／東京  | -                     |
| 次から1科目:<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」<br>+<br>次から1科目:<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4   | 大学入学共通テストの<br>成績上位1科目<br>+<br>次から1科目:<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4                    | -                           | 面接・書類審査 ※1<br>+<br>「水彩画」<br>面接・書類審査 ※1<br>+<br>「油彩画」 | 次から1科目:<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 | -  |                       |
| ①・②のいずれか<br><br>①次から1科目:<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」<br>+<br>次から1科目:<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4<br><br>②次から2科目:<br>「国語」<br>「数学」<br>「英語」 | 大学入学共通テストの<br>成績上位1科目<br>+<br>次から1科目:<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 | 大学入学共通テストの<br>成績上位2科目       | 41   | 9                             | 次から1科目:<br>「小論文」<br>「デッサン」<br>「水彩画」※3<br>「油彩画」※4 | 大学入学共通テストの<br>成績上位2科目 |
|   |  |                             | 11   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 8  | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 11   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 15   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 14   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 11   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 14   | 2                             |  |                       |
|   |  |                             | 12   | 2                             |  |                       |
| 6   | 2  |                             |  |                               |  |                       |
| 若干名   |  |                             |  |                               |  |                       |

※3 水彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず日本画コースを志望してください。 ※4 油彩画を選択する場合は第一志望から第三志望のいずれかで、必ず洋画コースを志望してください。

# 2020年度 入学試験結果データ

## 総合型選抜入学試験[専願型] (旧:アドミッション・オフィス(AO)入学試験)

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>127</b> | <b>178</b> | <b>178</b>  | <b>150</b>  | <b>149</b> | <b>1.2</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 13         | 14         | 14          | 14          | 14         | 1.0             |
| 歴史遺産学科         | 13         | 16         | 16          | 15          | 15         | 1.1             |
| 美術科            | 79         | 112        | 112         | 95          | 94         | 1.2             |
| 日本画コース         |            | 26         | 26          | 23          | 23         | 1.1             |
| 洋画コース          |            | 37         | 37          | 27          | 27         | 1.4             |
| 版画コース          |            | 8          | 8           | 7           | 7          | 1.1             |
| 彫刻コース          |            | 15         | 15          | 12          | 12         | 1.3             |
| 工芸コース          |            | 11         | 11          | 11          | 11         | 1.0             |
| テキスタイルコース      |            | 6          | 6           | 6           | 6          | 1.0             |
| 総合美術コース        |            | 9          | 9           | 9           | 8          | 1.0             |
| 文芸学科           | 22         | 36         | 36          | 26          | 26         | 1.4             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>169</b> | <b>305</b> | <b>305</b>  | <b>176</b>  | <b>176</b> | <b>1.7</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 32         | 54         | 54          | 36          | 36         | 1.5             |
| 建築・環境デザイン学科    | 22         | 27         | 27          | 22          | 22         | 1.2             |
| グラフィックデザイン学科   | 41         | 96         | 96          | 42          | 42         | 2.3             |
| 映像学科           | 32         | 66         | 66          | 36          | 36         | 1.8             |
| 企画構想学科         | 26         | 52         | 52          | 30          | 30         | 1.7             |
| コミュニティデザイン学科   | 16         | 10         | 10          | 10          | 10         | 1.0             |
| <b>全学計</b>     | <b>296</b> | <b>483</b> | <b>483</b>  | <b>326</b>  | <b>325</b> | <b>1.5</b>      |

## 総合型選抜入学試験[併願型] (旧:自己推薦入学試験(A/B))

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>56</b>  | <b>237</b> | <b>237</b>  | <b>107</b>  | <b>62</b>  | <b>2.2</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 3          | 24         | 24          | 9           | 5          | 2.7             |
| 歴史遺産学科         | 6          | 32         | 32          | 12          | 6          | 2.7             |
| 美術科            | 40         | 152        | 152         | 76          | 43         | 2.0             |
| 日本画コース         |            | 18         | 18          | 10          | 6          | 1.8             |
| 洋画コース          |            | 33         | 33          | 14          | 8          | 2.4             |
| 版画コース          |            | 10         | 10          | 3           | 2          | 3.3             |
| 彫刻コース          |            | 18         | 18          | 2           | 2          | 9.0             |
| 工芸コース          |            | 31         | 31          | 22          | 12         | 1.4             |
| テキスタイルコース      |            | 12         | 12          | 5           | 3          | 2.4             |
| 総合美術コース        |            | 30         | 30          | 20          | 10         | 1.5             |
| 文芸学科           | 7          | 29         | 29          | 10          | 8          | 2.9             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>71</b>  | <b>579</b> | <b>579</b>  | <b>129</b>  | <b>95</b>  | <b>4.5</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 13         | 101        | 101         | 21          | 17         | 4.8             |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 66         | 66          | 24          | 20         | 2.8             |
| グラフィックデザイン学科   | 14         | 101        | 101         | 24          | 16         | 4.2             |
| 映像学科           | 14         | 115        | 115         | 20          | 15         | 5.8             |
| 企画構想学科         | 10         | 132        | 132         | 19          | 13         | 6.9             |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 64         | 64          | 21          | 14         | 3.0             |
| <b>全学計</b>     | <b>127</b> | <b>816</b> | <b>816</b>  | <b>236</b>  | <b>157</b> | <b>3.5</b>      |

※社会人・シニア特別選抜試験(A日程)・指定校推薦入学試験を含む。

## 一般選抜入学試験 [前期] (旧:一般入学試験 [前期])

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>146</b> | <b>145</b>  | <b>42</b>   | <b>15</b> | <b>3.5</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 18         | 18          | 4           | 1         | 4.5             |
| 歴史遺産学科         | 11         | 14         | 14          | 3           | 2         | 4.7             |
| 美術科            | 41         | 96         | 96          | 32          | 11        | 3.0             |
| 日本画コース         |            | 23         | 23          | 9           | 2         | 2.6             |
| 洋画コース          |            | 16         | 16          | 8           | 4         | 2.0             |
| 版画コース          |            | 7          | 7           | 3           | 1         | 2.3             |
| 彫刻コース          |            | 13         | 13          | 2           | 0         | 6.5             |
| 工芸コース          |            | 18         | 18          | 5           | 1         | 3.6             |
| テキスタイルコース      |            | 9          | 9           | 3           | 2         | 3.0             |
| 総合美術コース        |            | 10         | 10          | 2           | 1         | 5.0             |
| 文芸学科           | 11         | 18         | 17          | 3           | 1         | 5.7             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>284</b> | <b>280</b>  | <b>25</b>   | <b>10</b> | <b>11.2</b>     |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 59         | 59          | 4           | 1         | 14.8            |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 45         | 45          | 3           | 1         | 15.0            |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 63         | 62          | 4           | 4         | 15.5            |
| 映像学科           | 14         | 55         | 53          | 4           | 2         | 13.3            |
| 企画構想学科         | 12         | 39         | 38          | 4           | 1         | 9.5             |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 23         | 23          | 6           | 1         | 3.8             |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>430</b> | <b>425</b>  | <b>67</b>   | <b>25</b> | <b>6.3</b>      |

※募集人員は一般入学試験(前期)、大学入試センター利用入試(1科目利用)、及び大学入試センター利用入試(2科目利用前期)を合算した募集人員。  
 ※社会人・シニア特別選抜試験(B日程)、外国人留学生特別選抜試験を含む。

## 一般選抜入学試験 [専願型] (旧:一般入学試験 [専願型])

| 学部・学科・コース      | 募集人員      | 志願者数      | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>15</b> | <b>12</b> | <b>12</b>   | <b>9</b>    | <b>9</b>  | <b>1.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 2         | 1         | 1           | 1           | 1         | 1.0             |
| 歴史遺産学科         | 2         | 2         | 2           | 2           | 2         | 1.0             |
| 美術科            | 9         | 7         | 7           | 4           | 4         | 1.8             |
| 日本画コース         |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 洋画コース          |           | 4         | 4           | 2           | 2         | 2.0             |
| 版画コース          |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 彫刻コース          |           | 2         | 2           | 1           | 1         | 2.0             |
| 工芸コース          |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| テキスタイルコース      |           | 0         | 0           | 0           | 0         | -               |
| 総合美術コース        |           | 1         | 1           | 1           | 1         | 1.0             |
| 文芸学科           | 2         | 2         | 2           | 2           | 2         | 1.0             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>12</b> | <b>22</b> | <b>22</b>   | <b>13</b>   | <b>12</b> | <b>1.7</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 2         | 4         | 4           | 2           | 1         | 2.0             |
| 建築・環境デザイン学科    | 2         | 3         | 3           | 3           | 3         | 1.0             |
| グラフィックデザイン学科   | 2         | 8         | 8           | 3           | 3         | 2.7             |
| 映像学科           | 2         | 4         | 4           | 3           | 3         | 1.3             |
| 企画構想学科         | 2         | 2         | 2           | 2           | 2         | 1.0             |
| コミュニティデザイン学科   | 2         | 1         | 1           | 0           | 0         | -               |
| <b>全学計</b>     | <b>27</b> | <b>34</b> | <b>34</b>   | <b>22</b>   | <b>21</b> | <b>1.5</b>      |

## 大学入学共通テスト利用入学試験 [1科目利用] (旧:大学入試センター試験利用入学試験 [1科目利用])

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>181</b> | <b>180</b>  | <b>55</b>   | <b>9</b>  | <b>3.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 18         | 18          | 3           | 0         | 6.0             |
| 歴史遺産学科         | 11         | 5          | 5           | 3           | 1         | 1.7             |
| 美術科            | 41         | 143        | 143         | 45          | 7         | 3.2             |
| 日本画コース         |            | 43         | 43          | 18          | 3         | 2.4             |
| 洋画コース          |            | 25         | 25          | 11          | 2         | 2.3             |
| 版画コース          |            | 9          | 9           | 3           | 0         | 3.0             |
| 彫刻コース          |            | 13         | 13          | 1           | 1         | 13.0            |
| 工芸コース          |            | 22         | 22          | 7           | 1         | 3.1             |
| テキスタイルコース      |            | 16         | 16          | 3           | 0         | 5.3             |
| 総合美術コース        |            | 15         | 15          | 2           | 0         | 7.5             |
| 文芸学科           | 11         | 15         | 14          | 4           | 1         | 3.5             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>199</b> | <b>197</b>  | <b>23</b>   | <b>8</b>  | <b>8.6</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 49         | 49          | 6           | 2         | 8.2             |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 20         | 20          | 2           | 2         | 10.0            |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 51         | 50          | 4           | 1         | 12.5            |
| 映像学科           | 14         | 33         | 32          | 4           | 2         | 8.0             |
| 企画構想学科         | 12         | 30         | 30          | 2           | 0         | 15.0            |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 16         | 16          | 5           | 1         | 3.2             |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>380</b> | <b>377</b>  | <b>78</b>   | <b>17</b> | <b>4.8</b>      |

※募集人員は一般入学試験(前期)、大学入試センター利用入試(1科目利用)、及び大学入試センター利用入試(2科目利用前期)を合算した募集人員。

## 大学入学共通テスト利用入学試験 [2科目利用前期] (旧:大学入試センター試験利用入学試験 [2科目利用前期])

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数     | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|------------|-------------|-------------|----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>71</b>  | <b>131</b> | <b>131</b>  | <b>29</b>   | <b>4</b> | <b>4.5</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 8          | 27         | 27          | 5           | 1        | 5.4             |
| 歴史遺産学科         | 11         | 17         | 17          | 9           | 2        | 1.9             |
| 美術科            | 41         | 63         | 63          | 14          | 1        | 4.5             |
| 版画コース          |            | 6          | 6           | 3           | 0        | 2.0             |
| 彫刻コース          |            | 10         | 10          | 0           | 0        | -               |
| 工芸コース          |            | 24         | 24          | 6           | 1        | 4.0             |
| テキスタイルコース      |            | 8          | 8           | 4           | 0        | 2.0             |
| 総合美術コース        |            | 15         | 15          | 1           | 0        | 15.0            |
| 文芸学科           | 11         | 24         | 24          | 1           | 0        | 24.0            |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>72</b>  | <b>318</b> | <b>318</b>  | <b>25</b>   | <b>2</b> | <b>12.7</b>     |
| プロダクトデザイン学科    | 15         | 58         | 58          | 6           | 0        | 9.7             |
| 建築・環境デザイン学科    | 14         | 49         | 49          | 2           | 0        | 24.5            |
| グラフィックデザイン学科   | 11         | 67         | 67          | 1           | 0        | 67.0            |
| 映像学科           | 14         | 67         | 67          | 3           | 1        | 22.3            |
| 企画構想学科         | 12         | 50         | 50          | 3           | 0        | 16.7            |
| コミュニティデザイン学科   | 6          | 27         | 27          | 10          | 1        | 2.7             |
| <b>全学計</b>     | <b>143</b> | <b>449</b> | <b>449</b>  | <b>54</b>   | <b>6</b> | <b>8.3</b>      |

※募集人員は一般入学試験(前期)、大学入試センター利用入試(1科目利用)、及び大学入試センター利用入試(2科目利用前期)を合算した募集人員。

※美術科日本画コース、美術科洋画コースは募集がありません。

## 一般選抜入学試験〔後期〕（旧：一般入学試験〔後期〕）

| 学部・学科・コース      | 募集人員 | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | 若干名  | <b>63</b>  | <b>63</b>   | <b>28</b>   | <b>12</b> | <b>2.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      |      | 7          | 7           | 2           | 1         | 3.5             |
| 歴史遺産学科         |      | 6          | 6           | 4           | 2         | 1.5             |
| 美術科            |      | 44         | 44          | 19          | 8         | 2.3             |
| 日本画コース         |      | 9          | 9           | 3           | 2         | 3.0             |
| 洋画コース          |      | 5          | 5           | 2           | 2         | 2.5             |
| 版画コース          |      | 3          | 3           | 2           | 0         | 1.5             |
| 彫刻コース          |      | 6          | 6           | 0           | 0         | -               |
| 工芸コース          |      | 11         | 11          | 9           | 3         | 1.2             |
| テキスタイルコース      |      | 5          | 5           | 2           | 0         | 2.5             |
| 総合美術コース        |      | 5          | 5           | 1           | 1         | 5.0             |
| 文芸学科           |      | 6          | 6           | 3           | 1         | 2.0             |
| <b>デザイン工学部</b> |      | <b>116</b> | <b>116</b>  | <b>19</b>   | <b>9</b>  | <b>6.1</b>      |
| プロダクトデザイン学科    |      | 29         | 29          | 3           | 1         | 9.7             |
| 建築・環境デザイン学科    |      | 14         | 14          | 3           | 2         | 4.7             |
| グラフィックデザイン学科   |      | 28         | 28          | 2           | 1         | 14.0            |
| 映像学科           |      | 15         | 15          | 1           | 0         | 15.0            |
| 企画構想学科         |      | 20         | 20          | 4           | 2         | 5.0             |
| コミュニティデザイン学科   |      | 10         | 10          | 6           | 3         | 1.7             |
| <b>全学計</b>     |      | <b>179</b> | <b>179</b>  | <b>47</b>   | <b>21</b> | <b>3.8</b>      |

※募集人員は一般入学試験(後期)、及び大学入試センター利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

## 大学入学共通テスト利用入学試験〔2科目利用後期〕（旧：大学入試センター試験利用入学試験〔2科目利用後期〕）

| 学部・学科・コース      | 募集人員 | 志願者数       | 受験者数<br>(a) | 合格者数<br>(b) | 入学者数      | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------|------------|-------------|-------------|-----------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | 若干名  | <b>35</b>  | <b>35</b>   | <b>15</b>   | <b>7</b>  | <b>2.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      |      | 4          | 4           | 1           | 1         | 4.0             |
| 歴史遺産学科         |      | 4          | 4           | 2           | 0         | 2.0             |
| 美術科            |      | 23         | 23          | 8           | 4         | 2.9             |
| 版画コース          |      | 4          | 4           | 2           | 1         | 2.0             |
| 彫刻コース          |      | 6          | 6           | 1           | 0         | 6.0             |
| 工芸コース          |      | 6          | 6           | 4           | 2         | 1.5             |
| テキスタイルコース      |      | 2          | 2           | 1           | 1         | 2.0             |
| 総合美術コース        |      | 5          | 5           | 0           | 0         | -               |
| 文芸学科           |      | 4          | 4           | 4           | 2         | 1.0             |
| <b>デザイン工学部</b> |      | <b>79</b>  | <b>79</b>   | <b>18</b>   | <b>10</b> | <b>4.4</b>      |
| プロダクトデザイン学科    |      | 22         | 22          | 4           | 2         | 5.5             |
| 建築・環境デザイン学科    |      | 7          | 7           | 3           | 1         | 2.3             |
| グラフィックデザイン学科   |      | 19         | 19          | 5           | 2         | 3.8             |
| 映像学科           |      | 12         | 12          | 4           | 3         | 3.0             |
| 企画構想学科         |      | 12         | 12          | 1           | 1         | 12.0            |
| コミュニティデザイン学科   |      | 7          | 7           | 1           | 1         | 7.0             |
| <b>全学計</b>     |      | <b>114</b> | <b>114</b>  | <b>33</b>   | <b>17</b> | <b>3.5</b>      |

※募集人員は一般入学試験(後期)、及び大学入試センター利用入試(2科目利用後期)を合算した募集人員。

※美術科日本画コース、美術科洋画コースは募集がありません。

## 全試験区分の総計

| 学部・学科・コース      | 募集人員       | 志願者数         | 受験者数<br>(a)  | 合格者数<br>(b) | 入学者数       | 受験倍率<br>(a)/(b) |
|----------------|------------|--------------|--------------|-------------|------------|-----------------|
| <b>芸術学部</b>    | <b>269</b> | <b>1,032</b> | <b>1,030</b> | <b>450</b>  | <b>276</b> | <b>2.3</b>      |
| 文化財保存修復学科      | 26         | 114          | 114          | 40          | 25         | 2.9             |
| 歴史遺産学科         | 32         | 99           | 99           | 50          | 30         | 2.0             |
| 美術科            | 169        | 670          | 670          | 301         | 177        | 2.2             |
| 日本画コース         |            | 125          | 125          | 64          | 37         | 2.0             |
| 洋画コース          |            | 123          | 123          | 65          | 46         | 1.9             |
| 版画コース          |            | 49           | 49           | 23          | 11         | 2.1             |
| 彫刻コース          |            | 85           | 85           | 20          | 17         | 4.3             |
| 工芸コース          |            | 128          | 128          | 65          | 31         | 2.0             |
| テキスタイルコース      |            | 62           | 62           | 25          | 13         | 2.5             |
| 総合美術コース        |            | 98           | 98           | 39          | 22         | 2.5             |
| 文芸学科           | 42         | 149          | 147          | 59          | 44         | 2.5             |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>324</b> | <b>2,029</b> | <b>2,018</b> | <b>441</b>  | <b>332</b> | <b>4.6</b>      |
| プロダクトデザイン学科    | 62         | 399          | 398          | 85          | 63         | 4.7             |
| 建築・環境デザイン学科    | 52         | 234          | 234          | 63          | 52         | 3.7             |
| グラフィックデザイン学科   | 68         | 467          | 465          | 87          | 71         | 5.3             |
| 映像学科           | 62         | 402          | 399          | 76          | 63         | 5.3             |
| 企画構想学科         | 50         | 355          | 352          | 69          | 51         | 5.1             |
| コミュニティデザイン学科   | 30         | 172          | 170          | 61          | 32         | 2.8             |
| <b>全学計</b>     | <b>593</b> | <b>3,061</b> | <b>3,048</b> | <b>891</b>  | <b>608</b> | <b>3.4</b>      |

※2021年度入試から廃止になった旧・小論文・面接・デッサン特別選抜入学試験の数も含まれています。

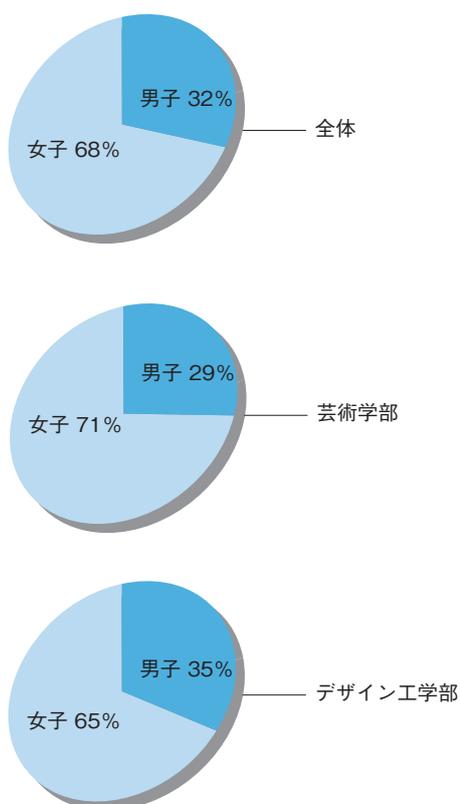
## 男女別結果(全試験区分の総計)

| 学部・学科          | 志願者          |              |              | 受験者          |              |              | 合格者        |            |            | 入学者        |            |            |
|----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
|                | 男            | 女            | 計            | 男            | 女            | 計            | 男          | 女          | 計          | 男          | 女          | 計          |
| <b>芸術学部</b>    | <b>351</b>   | <b>681</b>   | <b>1,032</b> | <b>349</b>   | <b>681</b>   | <b>1,030</b> | <b>120</b> | <b>330</b> | <b>450</b> | <b>80</b>  | <b>196</b> | <b>276</b> |
| 文化財保存修復学科      | 32           | 82           | 114          | 32           | 82           | 114          | 6          | 34         | 40         | 5          | 20         | 25         |
| 歴史遺産学科         | 54           | 45           | 99           | 54           | 45           | 99           | 27         | 23         | 50         | 16         | 14         | 30         |
| 美術科            | 188          | 482          | 670          | 188          | 482          | 670          | 67         | 234        | 301        | 41         | 136        | 177        |
| 文芸学科           | 77           | 72           | 149          | 75           | 72           | 147          | 20         | 39         | 59         | 18         | 26         | 44         |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>835</b>   | <b>1,194</b> | <b>2,029</b> | <b>835</b>   | <b>1,183</b> | <b>2,018</b> | <b>142</b> | <b>299</b> | <b>441</b> | <b>115</b> | <b>217</b> | <b>332</b> |
| プロダクトデザイン学科    | 205          | 194          | 399          | 205          | 193          | 398          | 40         | 45         | 85         | 32         | 31         | 63         |
| 建築・環境デザイン学科    | 119          | 115          | 234          | 119          | 115          | 234          | 28         | 35         | 63         | 24         | 28         | 52         |
| グラフィックデザイン学科   | 147          | 320          | 467          | 147          | 318          | 465          | 13         | 74         | 87         | 9          | 62         | 71         |
| 映像学科           | 177          | 225          | 402          | 177          | 222          | 399          | 29         | 47         | 76         | 26         | 37         | 63         |
| 企画構想学科         | 125          | 230          | 355          | 125          | 227          | 352          | 15         | 54         | 69         | 11         | 40         | 51         |
| コミュニティデザイン学科   | 62           | 110          | 172          | 62           | 108          | 170          | 17         | 44         | 61         | 13         | 19         | 32         |
| <b>計</b>       | <b>1,186</b> | <b>1,875</b> | <b>3,061</b> | <b>1,184</b> | <b>1,864</b> | <b>3,048</b> | <b>262</b> | <b>629</b> | <b>891</b> | <b>195</b> | <b>413</b> | <b>608</b> |

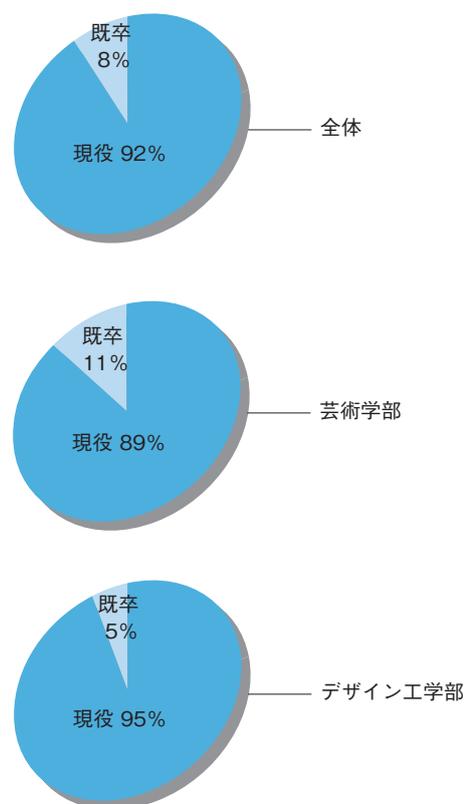
## 現役既卒別結果(全試験区分の総計)

| 学部・学科          | 志願者          |            |              | 受験者          |            |              | 合格者        |            |            | 入学者        |           |            |
|----------------|--------------|------------|--------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|------------|------------|-----------|------------|
|                | 現役           | 既卒         | 計            | 現役           | 既卒         | 計            | 現役         | 既卒         | 計          | 現役         | 既卒        | 計          |
| <b>芸術学部</b>    | <b>864</b>   | <b>168</b> | <b>1,032</b> | <b>864</b>   | <b>166</b> | <b>1,030</b> | <b>376</b> | <b>74</b>  | <b>450</b> | <b>246</b> | <b>30</b> | <b>276</b> |
| 文化財保存修復学科      | 93           | 21         | 114          | 93           | 21         | 114          | 33         | 7          | 40         | 21         | 4         | 25         |
| 歴史遺産学科         | 97           | 2          | 99           | 97           | 2          | 99           | 50         | 0          | 50         | 30         | 0         | 30         |
| 美術科            | 529          | 141        | 670          | 529          | 141        | 670          | 235        | 66         | 301        | 152        | 25        | 177        |
| 文芸学科           | 145          | 4          | 149          | 145          | 2          | 147          | 58         | 1          | 59         | 43         | 1         | 44         |
| <b>デザイン工学部</b> | <b>1,874</b> | <b>155</b> | <b>2,029</b> | <b>1,865</b> | <b>153</b> | <b>2,018</b> | <b>414</b> | <b>27</b>  | <b>441</b> | <b>316</b> | <b>16</b> | <b>332</b> |
| プロダクトデザイン学科    | 366          | 33         | 399          | 365          | 33         | 398          | 79         | 6          | 85         | 62         | 1         | 63         |
| 建築・環境デザイン学科    | 216          | 18         | 234          | 216          | 18         | 234          | 60         | 3          | 63         | 50         | 2         | 52         |
| グラフィックデザイン学科   | 430          | 37         | 467          | 428          | 37         | 465          | 78         | 9          | 87         | 64         | 7         | 71         |
| 映像学科           | 363          | 39         | 402          | 361          | 38         | 399          | 72         | 4          | 76         | 59         | 4         | 63         |
| 企画構想学科         | 337          | 18         | 355          | 335          | 17         | 352          | 66         | 3          | 69         | 49         | 2         | 51         |
| コミュニティデザイン学科   | 162          | 10         | 172          | 160          | 10         | 170          | 59         | 2          | 61         | 32         | 0         | 32         |
| <b>計</b>       | <b>2,738</b> | <b>323</b> | <b>3,061</b> | <b>2,729</b> | <b>319</b> | <b>3,048</b> | <b>790</b> | <b>101</b> | <b>891</b> | <b>562</b> | <b>46</b> | <b>608</b> |

入学者構成比(男女別)



入学者構成比(現役・既卒別)



## 都道府県別結果(全試験区分の総計)

| 地方  | 都道府県名      | 志願者数         | 受験者数         | 合格者数       | 入学者数       |
|-----|------------|--------------|--------------|------------|------------|
| 北海道 | 北海道        | 132          | 132          | 34         | 24         |
| 東北  | 青森県        | 116          | 116          | 34         | 24         |
|     | 岩手県        | 182          | 182          | 47         | 37         |
|     | 宮城県        | 776          | 772          | 215        | 168        |
|     | 秋田県        | 72           | 72           | 14         | 11         |
|     | 山形県        | 713          | 707          | 225        | 163        |
|     | 福島県        | 159          | 159          | 49         | 34         |
|     | <b>東北計</b> | <b>2,018</b> | <b>2,008</b> | <b>584</b> | <b>437</b> |
| 関東  | 茨城県        | 81           | 81           | 25         | 14         |
|     | 栃木県        | 70           | 70           | 26         | 15         |
|     | 群馬県        | 38           | 38           | 12         | 7          |
|     | 埼玉県        | 54           | 54           | 17         | 10         |
|     | 千葉県        | 46           | 46           | 13         | 5          |
|     | 東京都        | 86           | 86           | 35         | 17         |
|     | 神奈川県       | 46           | 46           | 11         | 4          |
|     | <b>関東計</b> | <b>421</b>   | <b>421</b>   | <b>139</b> | <b>72</b>  |
| 中部  | 新潟県        | 186          | 186          | 30         | 19         |
|     | 富山県        | 10           | 10           | 2          | 1          |
|     | 石川県        | 7            | 7            | 2          | 0          |
|     | 福井県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|     | 山梨県        | 26           | 26           | 7          | 2          |
|     | 長野県        | 77           | 76           | 24         | 15         |
|     | 岐阜県        | 7            | 7            | 3          | 1          |
|     | 静岡県        | 60           | 60           | 20         | 11         |
|     | 愛知県        | 14           | 14           | 6          | 1          |
|     | 三重県        | 1            | 1            | 1          | 1          |
|     | <b>中部計</b> | <b>388</b>   | <b>387</b>   | <b>95</b>  | <b>51</b>  |

| 地方         | 都道府県名      | 志願者数         | 受験者数         | 合格者数       | 入学者数       |
|------------|------------|--------------|--------------|------------|------------|
| 近畿         | 滋賀県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 京都府        | 1            | 1            | 1          | 0          |
|            | 大阪府        | 5            | 5            | 1          | 1          |
|            | 兵庫県        | 1            | 1            | 0          | 0          |
|            | 奈良県        | 3            | 3            | 1          | 1          |
|            | 和歌山県       | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | <b>近畿計</b> | <b>10</b>    | <b>10</b>    | <b>3</b>   | <b>2</b>   |
| 中国         | 鳥取県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 島根県        | 4            | 4            | 2          | 1          |
|            | 岡山県        | 2            | 2            | 0          | 0          |
|            | 広島県        | 6            | 6            | 2          | 1          |
|            | 山口県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | <b>中国計</b> | <b>12</b>    | <b>12</b>    | <b>4</b>   | <b>2</b>   |
| 四国         | 徳島県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 香川県        | 1            | 1            | 1          | 1          |
|            | 愛媛県        | 5            | 5            | 0          | 0          |
|            | 高知県        | 2            | 2            | 2          | 2          |
| <b>四国計</b> | <b>8</b>   | <b>8</b>     | <b>3</b>     | <b>3</b>   |            |
| 九州         | 福岡県        | 6            | 6            | 2          | 1          |
|            | 佐賀県        | 6            | 6            | 2          | 1          |
|            | 長崎県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 熊本県        | 4            | 4            | 2          | 0          |
|            | 大分県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 宮崎県        | 0            | 0            | 0          | 0          |
|            | 鹿児島県       | 10           | 10           | 5          | 3          |
|            | 沖縄県        | 11           | 11           | 3          | 1          |
|            | <b>九州計</b> | <b>37</b>    | <b>37</b>    | <b>14</b>  | <b>6</b>   |
|            | 検定         |              | 23           | 23         | 8          |
| 海外         |            | 12           | 10           | 7          | 6          |
| <b>合計</b>  |            | <b>3,061</b> | <b>3,048</b> | <b>891</b> | <b>608</b> |

入学者構成比(都道府県別)

北海道 24名 3.9%

東北 437名 71.9%

中部 51名 8.4%

中国・四国 5名 0.8%

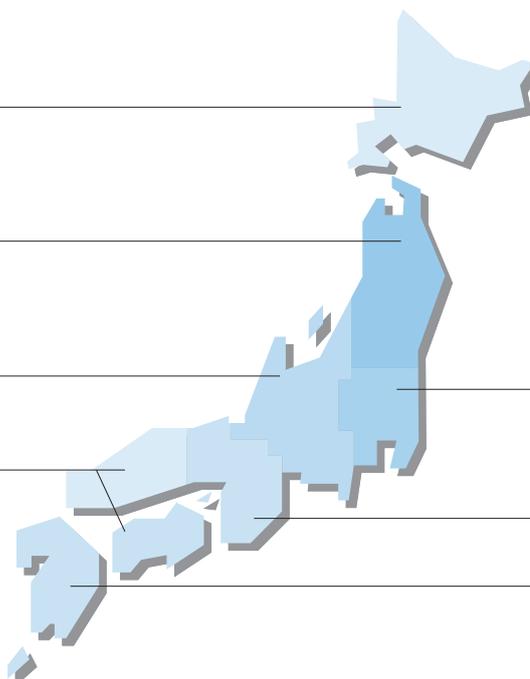
検定等 5名 0.8%

海外 6名 1.0%

関東 72名 11.8%

近畿 2名 0.3%

九州 6名 1.0%



## 志願者出身高校一覧(全試験区分)

### 北海道

札幌啓成、旭川東、旭川北、旭川工業、名寄、旭川南、おといねっぴ美術工芸、北見北斗、帯広三条、池田、釧路北陽、北広島、札幌新川、札幌平岸、札幌厚別、札幌国際情報、函館、登別明日、札幌開成、札幌光星、札幌大谷、札幌新陽、函館大学付属柏稜、函館ラ・サール、札幌日本大学、クラーク記念国際、北海道芸術

### 青森県

青森西、青森東、青森北、青森南、青森中央、弘前、弘前中央、弘前南、八戸、八戸東、八戸北、五所川原、三本木、田名部、弘前工業、黒石商業、青森明の星、五所川原第一、八戸工業大学第二

### 岩手県

盛岡第二、盛岡第三、盛岡第四、杜陵、花巻北、花巻南、花巻青雲、大迫、黒沢尻北、水沢工業、金ヶ崎、一関第一、高田、大船渡、遠野、久慈、福岡、盛岡市立、不来方、釜石、岩手、盛岡白百合学園、盛岡スコーレ、盛岡中央、専修大学北上

### 宮城県

仙台高専、仙台第一、仙台第二、仙台第三、仙台向山、古川、角田、築館、佐沼、白石、石巻、塩釜、名取、泉、多賀城、宮城第一、仙台二華、仙台三桜、石巻好文館、古川黎明、石巻北、松島、亘理、工業、古川工業、石巻工業、白石工業、大河原商業、水産、仙台南、仙台、仙台工業、名取北、泉松陵、仙台西、泉館山、宮城広瀬、利府、石巻西、柴田、仙台東、富谷、宮城野、仙台青陵、仙台商業、美田園、桜坂、気仙沼、仙台育英学園、東北、東北学院、東北学院榴ヶ岡、宮城学院、仙台白百合学園、尚綱学院、常盤木学園、聖和学園、東北生活文化大学、明成、聖ウルスラ学院英智、仙台城南、古川学園、秀光

### 秋田県

秋田北、花輪、大館鳳鳴、能代、本荘、由利、大曲、角館、横手、湯沢、仁賀保、秋田西、新屋、湯沢翔北、能代松陽、明桜、聖霊女子短期大学付属、秋田公立美術大学付属

### 山形県

山形東、山形南、山形西、山形北、山形工業、山形中央、山形市立商業、天童、寒河江、寒河江工業、谷地、東桜学園、新庄北、新庄南、米沢興譲館、米沢東、米沢工業、米沢商業、高島、長井、長井工業、荒砥、鶴岡南、鶴岡北、酒田東、酒田西、南陽、上山明新館、霞城学園、鶴岡中央、酒田光陵、村山産業、山形養護、山形城北、山形学院、日本大学山形、山形明正、山本学園、東海大学山形、新庄東、九里学園、米沢中央、羽黒、鶴岡東、和順館、酒田南

### 福島県

福島(県立)、橘、福島西、保原、安達、安積、郡山東、須賀川、須賀川桐陽、白河旭、会津、葵、会津学鳳、会津工業、磐城、いわき総合、相馬、郡山、福島東、いわき光洋、光南、福島成蹊、聖光学院、郡山女子大学付属、尚志、東日本国際大学付属昌平、石川(私立)

### 茨城県

日立第二、水戸第二、水戸第三、緑岡、笠間、麻生、土浦第二、土浦第三、竜ヶ崎第一、藤代、下館第二、竹園、水戸桜ノ牧、取手松陽、並木、明秀学園日立、茨城キリスト教学園、茨城、水戸啓明、鹿島学園、翔洋学園、つくば開成、第一学院(高萩校)、ルネサンス、水戸平成学園、つくば国際大学東風

### 栃木県

宇都宮南、宇都宮女子、宇都宮中央女子、鹿沼、栃木、足利女子、真岡女子、烏山、大田原、那須清峰、宇都宮北、鹿沼東、学悠館、さくら清修、佐野東、作新学院、國學院大学栃木、佐野日本大学、白鷗大学足利

### 群馬県

前橋工業、渋川、渋川女子、高崎北、前橋東、高崎経済大学付属、富岡、共愛学園、桐生第一、常磐、新島学園、東京農業大学第二

### 埼玉県

筑波大学附属坂戸、熊谷、春日部、不動岡、岩槻、坂戸、鷲宮、朝霞西、新座総合技術、大宮光陵、芸術総合、観明、本庄東、浦和学院、昌平、開智、川越東、開智未来

### 千葉県

八千代、松戸(県立)、佐倉、佐原、松戸六実、稲毛、幕張総合、和洋国府台女子、国府台女子学院高等部、専修大学松戸、志学館高等部、市原中央、わせがく、木更津総合

### 東京都

井草、工芸、立川、文京、保谷、八潮、世田谷泉、総合芸術、南多摩、かえつ有明、開智日本橋学園、学習院女子高等科、桐朋女子、駒込、昭和第一、順天、安田学園、潤徳女子、八雲学園、東京、恵泉女学園、東京農業大学第一、日本工業大学駒場、新渡戸文化、大妻中野、女子美術大学付属、富士見、東京純心女子、八王子学園八王子、NHK学園、聖徳学園

**神奈川県**

戸塚、大船、麻生総合、弥栄、青山学院横浜英和、橘学苑、桐蔭学園、武相、鎌倉学園、北鎌倉女子学園、清泉女学院、鶴沼、湘南白百合学園、相洋

**新潟県**

新潟中央、新潟南、新潟江南、新潟工業、巻、新発田、村上、村上桜ヶ丘、新津、長岡大手、長岡工業、見附、三条、三条東、小千谷、柏崎、柏崎常盤、高田北城、上越総合技術、高田商業、万代、新発田南、長岡向陵、国際情報、燕、直江津、新潟明訓、北越、上越、新潟清心女子、敬和学園、新潟第一、東京学館新潟、日本文理

**富山県**

桜井、富山東

**石川県**

金沢錦丘、七尾、金沢辰巳丘、北陸学院

**山梨県**

山梨学院、日本航空

**長野県**

須坂、長野吉田、長野西、篠ノ井、岡谷東、伊那弥生ヶ丘、白馬、飯山、長野（市立）、松商学園、松本第一、長野清泉女学院、エクセラシ、さくら国際

**岐阜県**

加納

**静岡県**

伊東、沼津東、沼津西、清水南、島田、榛原、磐田西、浜名、浜松大平台、日本大学三島、沼津中央、静岡雙葉、常葉大学附属橘

**愛知県**

旭丘、春日井、工芸、日進西、東邦、同朋、岡崎城西

**三重県**

名張

**京都府**

向陽

**大阪府**

履正社、向陽台

**兵庫県**

明石

**奈良県**

飛鳥未来

**島根県**

松江北、立正大学浜南

**岡山県**

岡山理科大学附属

**広島県**

広島皆実、三次

**香川県**

高松工芸

**愛媛県**

松山中央

**高知県**

高知小津、高知西

**福岡県**

八幡、敬愛、福岡大学附属大濠

**佐賀県**

武雄

**熊本県**

第二

**鹿児島県**

甲南、志学館高等部、屋久島おおぞら

**沖縄県**

開邦、球陽、興南、N

**検定**

高校卒業程度認定試験、大学入学資格検定

**海外**

外国の学校等

# 総合型選抜入学試験

## [専願型]

(旧:アドミッション・オフィス(AO)入学試験)

東北芸術工科大学の総合型選抜入学試験[専願型]は、一般的な大学入試のように「機械的に点数の低い受験生を落とす」だけの選抜型とは全く異なり、大学と受験生の相互理解を深め、通常の入試では評価されにくいあなた自身の魅力を評価するものです。選考の際は、アドミッション・ポリシー（大学側が求める学生像や受験生の受け入れ方針）やカリキュラムなどを理解していただき、ワークショップやミニレクチャーに参加したうえで、課題提出や面接を行います。これらを通して、受験時点での実力だけでなく、学ぼうとする意欲や取り組む姿勢、集中力、将来性など、個々の幅広い魅力と能力を見出し、多角的な評価で選考する点が大きな特徴です。



# 2020年度 学科・コース別 出題内容

※2021年度の入試では変更となる場合がありますので、受験の際は、必ず「2021年度学生募集要項」をご確認ください。

## 芸術学部

### 文化財保存修復学科

#### ① 提出物(事前提出)

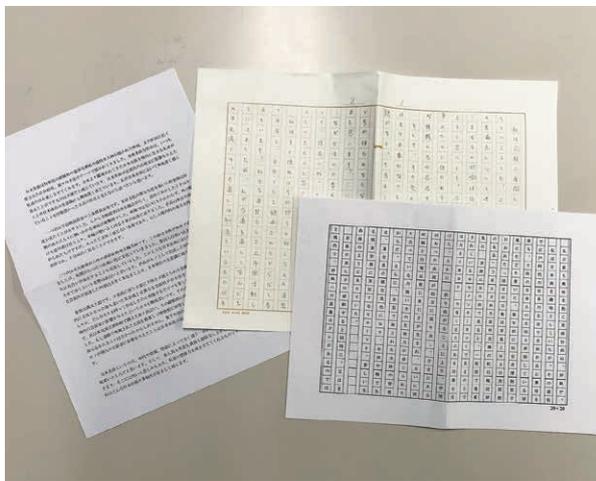
自分が興味を抱く文化財、美術作品や作家(日本、東洋、西洋のいずれでも可)について自分の考えをまとめた1,200字程度の文章(様式不問)を、出願書類に同封して事前に提出



#### ② ミニ講義

「地域文化財の保存と修復」を受講

#### ③ 面接



### 歴史遺産学科

#### ① ミニ講義

「芸術大学で歴史や文化を学ぶ意義」の受講

#### ② 面接

右記の(a)(b)のいずれかのテーマで資料を作成し、当日持参してその内容を3分程度にまとめて説明してください。

(a)あなたが馴染み深い場所、あるいは歴史が感じられると思う場所について、実際に現場を歩き、そこで暮らしている人への取材などをおおして、その場所に根付く「人の想い」を資料(地図、写真、図・スケッチ等)で説明。

(b)「自己アピールファイル」(P.17参照)

※(a)と(b)の両方に取り組むことも可能です。



**面接時には、作品や「自己アピールファイル」を持ち込むことが可能です。(4学科コース※以外)**

自己アピールファイルとは…自己アピールのために、あなたの高校時代の部活動、生徒会活動、ボランティア活動などの社会的活動、あなたの趣味や興味を持って取り組んできた活動、作品(ジャンルや様式不問)などについてまとめたファイルのことです。

①ファイルは、市販のクリアファイル(A4サイズ程度)等を利用するなど自由です。

②作品は必須ではありません(美術・デザイン分野の作品やその写真がなくても構いません。)

※美術科日本画コース、洋画コース、グラフィックデザイン学科、建築・環境デザイン学科以外の学科コースが対象です。

**美術科 日本画コース**

**①提出作品(当日持参)**

水彩画2枚、鉛筆素描2枚

(それぞれ木炭紙大サイズ(650mm×500mm)とする)

**②写生**

敷地内の決められたエリア内で各自、自由に対象を探して写生します。※雨天時は室内。画用紙はB3を3枚配布。使用枚数・方法は自由。時間は5時間。

**③面接(1グループ2～3人で行います)**



**美術科 洋画コース**

**①提出作品(当日持参)**

これまで制作した作品数点、もしくは作品の写真5点以上をまとめた冊子(油彩、デッサン、水彩、立体など、素材や大きさは問わない)

**②「油彩画」制作**

グループごとにモチーフを選んで組み、モチーフを囲むかたちで油彩画を制作する。

**③面接(1グループ2～3人で行います)**



## 美術科 版画コース

### ① 版画制作の体験

銅版画、木版画の制作体験

### ② 面接



## 美術科 彫刻コース

### ① 彫刻制作の体験

水粘土で自分の顔を模刻する。サイズは等身大のもの。

### ② 面接



## 美術科 工芸コース

### ① スチレンボードを使った立体造形の制作体験

課題：「感情」を主題として、自立する立体を造形表現しなさい。

条件

- ・作品名(タイトル)をつけなさい。
- ・作品は単体であること(全てが接着され持ち運べること)



### ② 面接



## 美術科 テキスタイルコース

### ① 数枚のTシャツを使った立体造形の制作体験

テーマ：〈からだ〉を考える

指定の素材を、自由に解体・再構築させて、あなたが考える〈からだ〉を造形して下さい。(切る、裁つ、破る、裂く、縫う、貼る、結ぶ、捻る、解す、削ぐ…)

条件

- ・Tシャツ3枚以上を活用すること。(上限5枚まで)

- ・その他用意された道具(ミシン・糸・ハサミ・ボンド・ホチキスなど)を活用したり、今自分が持っている筆記用具など自由に使ってかまいません。
- ・制作にあたり、草案用紙(別途配布)にタイトル・コンセプト・スケッチなどを必ず記入すること。
- ・最終的にプレゼンテーションを行い、制作物と草案用紙を提出すること。

### ② 面接



## 美術科 総合美術コース

### ①人と社会をアートでつなぐ活動を考える体験型演習

具体的な場面を想定してアイデアを考え、文章やイラストなどで表現。その後、発表します。

課題：あなたの地元の道の駅に観光客の方が楽しめるフォトスポットを作りたいと思います。あなたならどのようなものを作りますか？



#### 条件

- ・文字や絵など表現方法は自由
- ・フォトスポットにタイトルをつけること
- ・道の駅は実際にある場所でもなくてもよい
- ・地元の良さを伝えるようなスポットであること
- ・予算、自分が実際に制作できるかどうかについては考えなくてよい

### ②面接



## 文芸学科

### ①創作体験

昔話をリライト（書き換え）する体験型演習を行います。はじめに、教員がデモンストレーションとしてリライトの仕方について丁寧に説明します。その後、受験生のみなさんが教員か

ら指導やアドバイスを受けながらグループでリライトに挑戦します。グループワーク終了後は、「表と裏」というテーマで400字の作文を書きます。

### ②面接



## デザイン工学部

### プロダクトデザイン学科

#### ①プロダクトデザイン体験

文房具・生活用品等のデザイン／身のまわりのモノを取り上げ、優れた点や改善すべき点をグループで話し合い、観察する眼と意見を伝える力を身につけます。

課題：「はかる」道具のデザイン



課題①：はかる道具をリストアップ→はかる道具をグループ化  
課題②：あったらいいなと思う「はかる」道具のアイデア→あったらいいなと思う「はかる」道具をグループ化→グループで発表し、最後に体験授業の振り返りシートを記入する。

#### ②面接



### 建築・環境デザイン学科

#### ①提出物(事前提出)

住宅、建築、エコロジー、リノベーション、ランドスケープ、まちづくりなど興味のある分野に関して1,200字程度の小論文(様式不問)を提出してください。

#### ②建築や環境に関するミニ講義を受講

講義を受講した後に、ミニレポートを提出します。

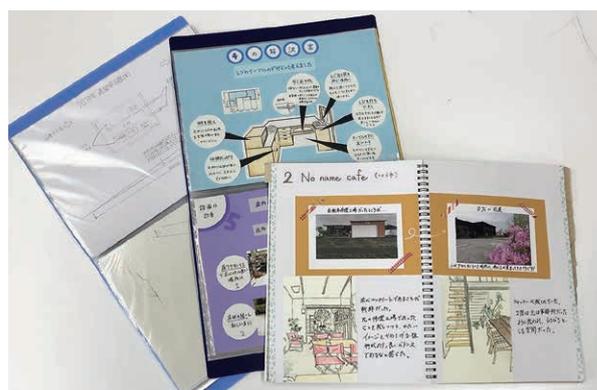


(参考図書)

・『未来の住宅 カーボンニュートラルハウスの教科書』  
竹内昌義、馬場正尊、三浦秀一、山畑信博、渡部桂(著)・バジリコ出版  
『風景資本論』廣瀬俊介(著)・朗文堂

#### ③面接

自分が学びたいと考えている建築か環境について、図や絵などを使ってまとめたファイルを必ず持参してください。



## グラフィックデザイン学科

### ① 模擬授業

テーマに基づき、グループに分かれて簡単なディスカッションを行います。

1日目テーマ:「新しい礼儀」を考えてください。

2日目テーマ:「新しい贈り物」を考えてください。



### ② 面接

試験当日、自己アピールのための「プレゼンテーションファイル」※を必ず提出してください。



## 映像学科

### ① 創作体験

3つのキーワード(タピオカ、18歳選挙権、VR)から連想したストーリーを、文中にそのキーワードを入れて600字以内に表現します。また、ストーリーを象徴するワンシーンのアイデアスケッチを描きます。(スケッチへの着彩も可。ただし色

鉛筆・水彩マーカーまでの使用とし、道具は持参とすること。)

### ② 面接



#### ※プレゼンテーションファイル

これまでの部活動や社会活動、自分らしい取り組みをまとめ、他人に自分の特徴を理解してもらうためのもの。内容は、美術やデザイン分野の作品には限定せず、文化部や運動部、趣味の世界、これからの目標などをまとめること。自由な発想で、他人に見せるための基本的な工夫を凝らしたものを望む。ファイルは完全自作とし、素材やテーマ、形式は自由。大きさはA3サイズまでとする。市販のクリアファイル(A4～A3サイズ)を利用して構わない。

## 企画構想学科

### ①ミニ講義

企画に関するミニ講義を受講する。

### ②企画提案体験

テーマにもとづき、グループに分かれて簡単な企画提案を行う。

課題:「海外から来た外国人観光客が魅力的に感じるコンビニエンスストアを考える」

条件

- ・1班4～5人のチームによるグループワーク
- ・発表は大判用紙(模造紙)で行う

### ③面接



## コミュニティデザイン学科

### 〈課題図書〉

以下の2冊を課題図書として挙げます。これらの本を事前に読んだうえで、AO入試に臨んでください。

- ・『ふるさとを元気にする仕事』山崎亮(著)・ちくまプリマー新書
- ・『人口減少×デザイン』寛裕介(著)・英治出版

### 〈試験内容〉

#### ①体験型演習「地域課題を解決し、幸せな社会をつくるためのアイデア会議」

コミュニティデザインの手法を用いたグループワークを行います。グループワークでは主体性や協調性、相手の話を聞く力、相手の話を引き出す力などを期待します。また、グループでの意見をまとめる力や、アイデアへとまとめる創造力・表現力も求めます。発案したアイデアはグループごとにプレゼンテーションしてもらいます。

#### ②レポートの作成

アイデア会議終了後、各自でレポートを作成します。レポートの内容は右記のとおり。

・アイデア会議を通じて得た各自の気づきや考えを簡潔な文章にまとめる

・課題図書(コミュニティデザインについて)の理解度を測る設問への回答

### ③面接

自己アピールファイルを持参してください。

### ④読解力テスト

コミュニケーションの基本である国語の読解力を測ります。



冊子内で見開きとするため、本ページは空白となっています。

# 実技

小論文 / デッサン / 水彩画 / 油彩画



# 小論文

試験時間 90分

## 2021年度出題概要

|            |  |
|------------|--|
| 出題内容       | 指定の出題テーマに沿って提示された文章(著作物・新聞記事・コラム等)を読み、その内容に触れつつ自分の考えを600〜800字で述べる  |
| 2021年度のテーマ | 「社会と人間」(全入試共通)   |
| 評価のポイント    | 「思考力・判断力・表現力」を評価するため以下のポイントを重視する<br>文章力:単なる読みやすい文章だけではなく、論理的な文章を書けているか<br>読解力:課題文で書かれている主題をきちんと理解し、自らの意見を書けているか<br>構成力:自分の都合のいいように、強引に理屈をこじつけるような説を述べるのではなく、課題文との連続性の中で文章を書けているか<br>論理展開力:自らの感想や体験にとどまらない普遍的な視点により、論理的な考察を行っているか |
| 大学で用意するもの  | 解答用紙(原稿用紙縦書き)、下書き用紙(A3,2枚)   |
| 受験者が用意するもの | 鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム、鉛筆削り  |

### ●アドバイス

小論文は感想文ではありません。書き手が思ったことを素直に書いても、それは感想文にしかありませんし、ましてや誰かの顔色をうかがうような「〇〇はしてはいけないと思います」のような心地よい終わり方をする文章は小論文ではありません。

そうならないために必要な力の一つは文章力です。「あーそーゆーことね」と思ったあなた、それは多分違います。わかりやすく読みやすい文章を書くのは当然のことです。入試だからといって特別、要求されるものではありません。そうではなく自らの言いたいことを論理的に伝えるための文章力です。自らの主張のためにどのような語句を使えば良いのか。一文内の構成だけではなく、段落内の文章構成、さらには段落ごとの全体構成も含めて考える必要があります。

二つ目は読解力です。例えば課題文で「白米の美味しさ」について述べられているとしましょう。これに対して「ライスペーパーの便利さ」を書いたとしたら、課題文のテーマからは大幅にずれていることとなります。もちろん同じ「米」について書いているため、解答者自身は関連する意見を述べている感覚に陥っているのはわかります。しかし課題文の主題を見失っていると読み取れます。

三つ目は構成力になります。「白米の美味しさ」という課題文に対し、「美味しい」、「不味い」という対立軸を勝手に構成し、片方の立場で意見を述べるのはベストな選択で

はありません。なぜならまず課題文にその二項対立が書かれているかどうかの確認が必要です。また賛成や反対は誰でもできることで、そこに書き手の力はあまり必要ありません。何より対象に対する思想が二つしかないのは、極めて窮屈な考えです。そうではなく単なる対立軸を越えて、自らの意見を述べる力が試されます。そのためには課題文を踏まえ、自らの意見を論理的に構成し、説得力のある内容を練り上げることとなります。

最後は論理展開力になります。感想文にならないためには、客観的な情報をよりどころにした論理的な思考を行い、それらの情報により自らの意見や思想を裏証していく必要があります。そのためには数多くの本を読み、ニュースに触れ、知識を増やし、自らの身体での体験・経験をしていかなければなりません。ここで陥りがちなのは、自らの体験をただ書くだけで論理的な主張になると思い込むことです。もちろん皆さんの経験は皆さんの経験として重要です。でも別の人が同じ事象を経験しても、正反対の感慨を抱く可能性もあります。つまり個人の体験を普遍化するためには論理的な力が必要となります。

文章を書く訓練、そのために必要な情報の取得を平日頃から取り組むため、小論文を書く力は一朝一夕で身につくものではありません。逆にいえば皆さんがこれまで生きてきて経験したこと、知識として吸収したことが直接的に表れてきます。その多様な知識に裏打ちされた多様な感性は、入学後も必ず活かされます。

総合型選抜入学試験【併願型】(旧:自己推薦入学試験A)

問題

以下の文章は、ステファン・マンクーゾ、アレクサンドラ・グイオラ(著)、久保耕司(訳)『植物は(知性)をもっている 20の感覚で思考する生命システム』(NHK出版／2015年)からの抜粋です。

この文章を読み、「自然と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

P. 169見出し「知性の境界線」〜P. 172第一段落「語られないのだろうか?」まで。

※この文章は著作権の問題により公開できません。

参考解答

【生物から学ぶ】

私は、植物や動物に関わらず、「生きるための知性」から人間が学ぶことは多くあると考える。課題文には、植物が問題解決している方法を認めて参考にすべきとあるが、「人間は他の生物よりもかしこい」と考えている人も一定数確かにいる。このような人こそ、生物の多種多様な「生きるための知性」から学び、参考にすべきではないだろうか。

課題文で知性と定義されている「問題を解決する力」は、進化という過程を経ている時点で全ての生物に存在すると私は考える。生物は、「生きる過程で問題が生じた時」に進化をとげる。人間も、樹上で生活することが困難になったことから地上で二足歩行をできるようになるという進化を経ている。現在において生きている生物は全て、「問題を解決する力」すなわち知性を有しているのだ。

未来が益々予想不可能になっている現代において、人間に必要なのは「問題を解決する力」である。これは前述したように人間にも備わっているが、生きていくことに関して重大な問題が生じることはほとんどない今、確実におとろえていくと感ずる。「知識」ばかり身につけても「知性」は育たないからである。すでに「AI」に職をとられる」ということが問題視されている今、「知性」によつて問題解決するという「生物ならできるが生物にしかできないこと」が重要になる。人間は今一度植物や動物から問題を解決する方法を学ばなければならないのだ。

動物はもちろん、植物から学ぶというのは植物に知性を認めていない限り、難しいと思われるかもしれない。しかし、課題文にあるように「観察すること」で知性を認めることができるのである。生物を観察し、そこにある知性を認めることで視野を広げ、自分が問題解決する際に生かしていく事が大切なのである。

評価ポイント

問題文の読解ができていれば、事前に考えてきた内容をそのまま解答に書けないはず。また自らの体験を書くのも同様で、論理的接合の難しさが生じるはず。もちろん論理的展開をクリアすれば良いわけですが、多くは無理やりな内容となっています。その点、参考解答は問題文のテーマを読み取り、そこから自らの意見を論理的に接合させています。

**一般選抜入学試験〔前期・専願型〕**（旧：一般入学試験〔前期・専願型〕）

**大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕**（旧：大学入試センター試験利用入学試験〔1科目利用〕）

**問題**

以下の文章は、「(社説)商業捕鯨再開 国際理解軽視の船出」(出典：2019年7月9日05時00分朝日新聞デジタル <https://www.asahi.com/articles/DA3S14088261.html> (試験問題用に一部改変)からの抜粋です。

この文章を読み、「自然と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

※文章は著作権の問題により公開できません。

**参考解答**

参考解答なし

## 一般選抜入学試験〔後期〕(旧：一般入学試験〔後期〕)

### 問題

実施なし

※2020年度の本人試では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別試験を行わなかったため、参考までに「2019年度一般入学試験〔後期〕」の問題と参考解答を次ページに掲載します。

## 【参考】2019年度 一般入学試験〔後期〕

### 問題

以下の文章は、内山節「歪んだ自然との結びつき」(『水の文化 第53号』/ツカン水の文化センター、2016年6月、2-3ページ)からの抜粋です。

この文章を読み、「自然と人間」をテーマに自分の考えを、600字〜800字でタイトルをつけて自由に論じなさい。

かつての日本の人々は、みえている世界の奥にみえない世界があると考えていた。みえているのは現象の世界であり、みえない世界に本質があるというところから考えようである。

たとえば「私」をみても、みえているのは私の現象だけだ。背が高いとか低いとか、どんな話し方をしてどんなことについてよく語るとか。ところが「私」の本質は何かと問われればよくわからない。誰も気づいていない本質があるかもしれないし、私自身もまた自分の本質を知らないのかもしれない。

自然の本質も同じことだ。暑い夏が来たり風に襲われたりといった現象は知っていても、自然の本質とは何かと聞かれば満足な答えを出せる人はまずいないだろう。自然の本質もまたみえない世界だ。

妖怪や物の怪も、それがみえるかたちで現れるなら現象の世界なのである。それは妖怪や物の怪の本質ではない。

とするとすべてのものの本質はどこにあるのだろうか。かつての人々は、それは結び合う世界にあると考えていた。私たちにはみえない、気づかないだけで、すべてのものは奥の方で結び合っている。自然も人間も、最深部では結び合う存在をもっていて、この共通の存在から現れてきた現象が、ひとつひとつのものであり、私であつたり、他の誰か、木や草や動物であつたりする。

だから奥にある結び合う世界が「自然」であることを人々は願った。自然とは「おのずから」ということであり、作為の入らない本来のものという意味でもある。自然に真理の世界、それゆえに神仏の世界をみたとしてもよい。

ところが人間たちの行いが、自然の結びつきをゆがめてしまうことがある。その結果古代の人たちが一番恐れたのは祟りだ。たとえば奈良時代には御霊信仰(注1)が広がったが、それは謀略などによつて命を落とした人が怨霊となつてこの世に祟るといふものである。菅原道真(注2)は祟り神としてあまりにも有名だが、人々は怨霊を鎮めるためにいろいろなことをした。人間たちの誤つた行いが自然の結びつきをゆがめ、その結果怨霊が祟るといふ現象が生みだされたのである。だから人々は自然の結びつきを回復するために努力しなければならなかつた。

おそらく妖怪や物の怪も、結びつきのゆがみから生まれてくるものなのだろう。ただし江戸時代になるとそれをも生きる世界の「友人」にしてしまう傾向も生まれた。絵画として妖怪が描かれ、カッパは少々悪さをする村の居住者になつていく。人々は結びつきのなかのゆがみも許容するようになり、それがいまに伝えられるようになった。

(注1) 御霊信仰：死者の霊がたたることを恐れることから生じた信仰である。

(注2) 菅原道真(すがわらのみちざね)：平安時代の貴族であつたが、政略により、大宰府に左遷された。死後、怨霊となり、朝廷にたたりをなしたとされる。現在では学問の神様としても知られている。

## 参考解答

## 「歪みを受け入れて共存する」

古代、自然と人間をはじめとしたあらゆるものは、一つの世界でつながっていると考えられてきた。その世界は「自然」と呼ばれる。江戸時代以前の人間は、「自然」の結びつきを大切に、それを歪ます行為は誤ったものとされていた。しかし、現代では「自然」を基準とした習わしはほぼ消滅し、私たちは人間を中心とした規範に従っている。

しかしながら、私はその歪んだ状況でも、自然とのつながりを感じることもある。その行為は、神社へお参りに行くことだ。

私の祖父は農家をやっている。祖父が住んでいる場所は山に囲まれており、私は街に住んでいるため、一年に一度だけ遊びに行く。そのときに、祖父の家の近くの神社へお守りを貰いに参拝する。

私はその行為を、神を敬うものとしてではなく、今も残っている「自然」を続けていくものだと思っている。私以外の人も、わざわざ遠方から訪れている人は大勢いるため、「自然」が意識されない現代でも、この神社は残っているのだ。

古代の日本のように自然と一体化し、「自然」の結びつきを歪ませない生活を続けることは、ほとんどの人間ができないことだ。木が生えないコンクリートの上に住居を構え、自然信仰の対象となる神社から遠く離れた場所で多くの人は生活している。その歪みは、もはや治せないものである。

だからこそ、その歪みを自覚しながら受け入れていくことが、自然と人間をつなぐ結び目になっていく。現代社会で自然と人間は一見すると相いれないものを感じるが、昔のような結びつきが今もどこかで残っている。私たちの食べ物や道具が、自然を構成するものにつながるように、私たち人間の心も自然の精神のような本質とつながるところがある。自然と人間は、同じ世界の住人として自然と接していかなければならないのだ。

## 評価ポイント

よく見られる解答は、課題文の意図をまったく理解せず事前に考えてきた自説を覚えただまま書き連ねるというものです。しかしまったく別人であるはずの課題文の作者と解答者の意図がぴつたりと致することはありえません。課題文に沿って、物事を考え、自らの体験や知識を論理的に接合させることを心掛けてください。

※2021年度入学試験より、「手のデッサン」と「静物デッサン」を統合し、「デッサン」になります。

## 2021年度出題概要

|                        |   |
|------------------------|---|
| 出題内容                   | 鉛筆によるデッサン<br>モチーフ：日用雑貨と手(片手・両手いずれも可)(全入試共通)   |
| 評価のポイント                | 「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する<br>観察力：形、質、色などモチーフが持っている情報をどれだけ多く得られているか<br>構成力：モチーフの組み合わせ方、画面にどのように描いているか<br>描写力：観察して構成したものをしっかり描いてモチーフの特徴が第三者にも判るか                      |
| 大学で用意するもの              | B3画用紙、下書用紙(A3、2枚)   |
| 受験者が用意するもの<br>(使用可能用具) | 鉛筆デッサン用具一式、カルトン(画板)またはパネル、カルトン用クリップ、フィキサチーフ(定着液は試験終了時に限って使用可)<br>使用可：鉛筆(シャーペン可)、消しゴム(練り消しゴム含む)、鉛筆削り用具(カッター含む)、デッサンスケール(デスクル)、擦筆、羽ぼうき(製図用ブラシ含む)、はかり棒、定規、ティッシュおよびガゼ(袋から出して使用) |

### ●アドバイス

紙コップ、ロープといった日用雑貨はみなさんが日頃から目にしていないモノです。普段目にしていないモノだからこそ改めてしっかり観察する事から始めてみてください。また、モノと人(手)がどのように接しているのかも観察してみましょう。そして、沢山描いてみる事が大切です。デッサンの評価ポイントは「観察」「構成」「描写」の3つです。この評価ポイントに従って描いてみましょう。

#### (1) 観察

「観察」のポイントは、モチーフが持っている情報を収集し、それがどういうモノなのかを理解できているか？です。手は骨格や筋肉のつき方など、皮膚の下にある構造を意識することが必要です。各指の太さや長さ、手のひらの大きさ、厚み、手首と腕の長さなど、それぞれの比率も重要なポイントです。また皮膚や爪などの質感表現は、「手らしさ」を表す大切な部分です。日用雑貨も同じように構造的な観察を行ってください。紙コップなどのモチーフは形や比率の正確さが特に重要です。またコップの縁の膨らみや紙の薄さ、

持ったときの軽さ、ロープの柔らかさなど、その物らしさを表す部分を見落とさないようにしましょう。

#### (2) 構成

「構成」のポイントは、モチーフの組み合わせ方、そしてそれらを画面にどのように描いているか？です。まず手と日用雑貨の組み合わせ方が重要です。モチーフそれぞれの「らしさ」が出るポーズ、アングル、組み合わせた時に立体的な空間を作れているか等を注意深く確認しましょう。次に画面にどのように配置するかですが、大き過ぎず、小さ過ぎず、画面の余白との関係をしっかり確認して位置を決めましょう。

#### (3) 描写

「描写」のポイントは、観察し構成したモチーフをしっかりと描き込まれているか？です。そのためには光の方向を定め、陰影のつき方に矛盾が起きないようにしましょう。また、モチーフの手前と奥の描き込み密度、鉛筆の濃淡の使い分け、観察や構成から得られた事を整理して描き込むようにしましょう。

※P.33～35に掲載する参考作品は、2020年度入学試験の問題および参考解答ではなく、2021年度入学試験の問題を想定した問題例および参考解答になります。

## 全入試共通

※以下の参考作品は在学生による模擬テストを行ったものです。

### 問題例 1

与えられたモチーフと、それを持つ手を鉛筆デッサンしなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：紙コップ



デッサン

### 参考解答



#### 評価コメント

モチーフを掴むポージングと、それぞれの指のしっかりとした描き込みによって力強い印象を与えています。重なって隠れてしまいがちな指を隙間から上手に見せ、濃淡に差をつけながら立体的な空間を表現しています。紙コップに映る指の影や反射する光にも気を配り、細部まで注意深く観察できています。

#### 評価コメント

有機的な手と幾何的な紙コップとの対比が明確に表現されています。紙コップは上下のフチの見え方の違いや回り込み、左右対称性が正確に捉えられています。手は自然な指の折り方によって柔らかさが表現され、シワまで観察して描き込むことで皮膚の質感をより感じることができます。紙コップをつまむ親指と人差し指・中指との空間がとても魅力的です。



**評価コメント**

画面に対しての配置、モチーフである紙コップと手の組み合わせ方など、ねらいをはっきり感じられるデッサンです。人差し指の付根から親指にかけて手の甲の部分は、形が分かりにくく難しいところですが、形をしっかりと観察できています。ちょっとしたことですが、紙コップ上部の端が隠れないようにしたところもとても重要です。影となる部分の描写はH系の硬い鉛筆を使い彩度(色の鮮やかさ)をもう少し下げると奥行きをもっと感じられるようになります。

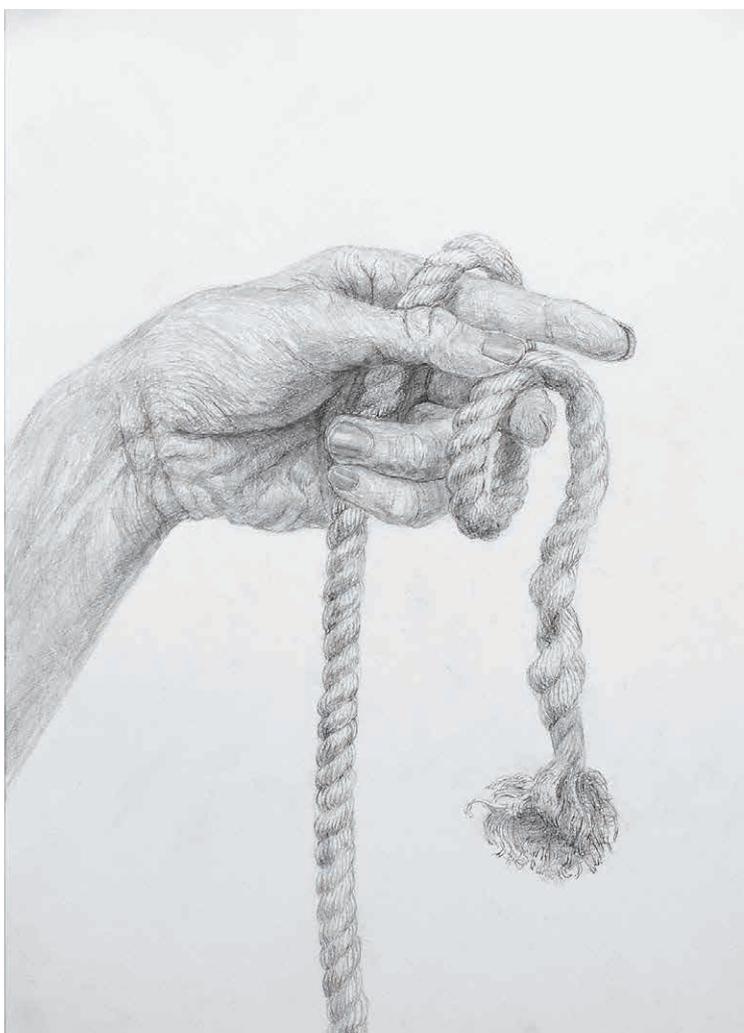
問題例 2

与えられたモチーフと、それを持つ手を鉛筆デッサン  
しなさい。なお、手は片手でも両手でも構わない。

モチーフ：ロープ



参考解答



評価コメント

モチーフの特性を活かした構成に魅力があります。ロープの弾力性を感じさせながら手の表情を巧みに作り出している工夫が伝わってきます。また細部までしっかりと描き込まれ、皮膚のしわや爪、ロープの手触り感など質感をしっかりと観察していることが感じ取れます。やや立体感が弱い気もしますが、光の方向を意識して明暗の差を整理すればさらに良くなるでしょう。

※2021年度入学試験より、総合型選抜入試〔併願型〕の出題内容は「水彩構想画」から「水彩画」に変更になります。

## 2021年度出題概要

|            |  |
|------------|--|
| 出題内容       | 水彩画制作<br>〔試験別モチーフ〕<br>○総合型選抜入学試験〔併願型〕：果物、野菜、無機物などの静物1～2点<br>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕：花、果物、野菜、無機物などの静物を数点   |
| 評価のポイント    | 〔思考力・判断力・表現力〕を評価するため、以下のポイントを重視する<br>○総合型選抜入学試験〔併願型〕<br>描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか<br>観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか<br>発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で解釈、表現出来ているか<br>表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力を表現出来ているか<br><br>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕<br>描写力(技術)：対象から得た情報を個々の技術でいかに再現出来ているか<br>観察力：対象の形態、質感、色をどれだけ捉えることが出来ているか<br>発想力(独自の視点)：画面上において、対象から得た情報を独自の視点で咀嚼、表現出来ているか<br>構想力(構図)：対象を卓上で組み合わせ、それらを画面上で構築することが出来ているか<br>表現力(色彩表現)：色彩を用いて対象の魅力をいかに表現出来ているか |
| 大学で用意するもの  | P12号の水張りパネル  |
| 受験者が用意するもの | 水彩用具一式、筆洗、鉛筆、消しゴム、鉛筆削り、描画用具  |

### ●総合型選抜入学試験〔併願型〕出題のねらい

一般入試と異なり、限られた数(1～2)のモチーフで水彩画の試験を行ないます。対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということが特に重要です。目前の対象をただ写し取るだけでは無く、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、また対象の魅力を引き出していく姿勢を重視します。

### ●総合型選抜入学試験〔併願型〕アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを行い、制作に励んでください。

### ●一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験〔1科目利用〕アドバイス

対象の構造を理解し、どこまで対象に迫ることが出来るのかということを重視します。形態を捉えることはもちろんのこと、対象の細部まで丁寧に観察して質感を捉えていこうとする姿勢、そして対象の魅力を引き出そうとする姿勢が大切です。構想に対しての感覚も評価のポイントです。与えられた対象を用いて、明確な意図を示した構図、構成を期待します。

絵の具における色彩表現においては、自身の色彩感覚を大切に、積極的に色を探りながら筆で丹念に描くことを心掛けてください。

5時間という限られた時間の中で魅力的な画面を作るには、何を主題とするのかをしっかりと見極めて制作することが重要です。対象を理解した上で、どのように表現するのかということをお大切にしてください。そのためには日頃から自分が何に心惹かれるのか、何を伝えたいのかということを行い、制作に励んでください。

※P.37～38に掲載する参考作品は、2020年度入学試験の問題および参考解答ではなく、2021年度入学試験の問題を想定した問題例および参考解答になります。

## 総合型選抜入学試験[併願型] (旧:自己推薦入学試験A)

※以下の参考作品は在学生による模擬テストを行ったものです。

### 問題例1

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：パイナップル



### 参考解答



#### 評価コメント

パイナップルの形態、質感、色彩に至るまで、観察がよくいき届いています。しっかりとした技術で複雑な表情を丁寧に再現することができています。また、パイナップルをあえて斜めに配置するなどして自分の表現したいこと、伝えたいことを絞り、自らの視点を大切に表現することができています。パイナップルの光源側の描写に対する熱意がよく伝わってきます。



#### 評価コメント

パイナップルの質感と色彩をしっかり捉えることができています。色彩表現においては、パイナップルの様々な色彩を独自の感性で柔らかく表現することができています。また、葉の部分の複雑な情報などを通し、隅々まで捉えようとする姿勢がよく伝わってきます。真横から視る配置ですが、全体像を表現しようとする視点が窺えます。

## 問題例 2

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：薪



## 参考解答



## 評価コメント

薪の形態、質感、色彩を丁寧に観察することができています。表皮と内側の違いを見極め、粘り強く捉えようとする姿勢が伝わってきます。一見同じような色彩に見えるところも、暖色寒色と様々な色味を感じ、表現しています。また、2つを関連させて一つの空間に収まるように表現するなど、薪を独自の視点で解釈、表現することができています。

一般選抜入学試験[前期・専願型] (旧:一般入学試験[前期・専願型])

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] (旧:大学入試センター試験利用入試[1科目利用])

問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：赤ワイン、<sup>けいおうざくら</sup>啓翁桜2本、画用紙、いちご3個、デコポン

注意事項：1. 水張りパネルは、縦・横どちらの向きに使用してもよい。  
2. モチーフは、加工してもよい。



参考解答



評価コメント

寝かせたワイン瓶に2本の啓翁桜を巧みに重ね、さらに台との高低差をつけることで全体の表情を拡げています。鮮やかな果物を光源側に置き、光を柔らかく見せるなど、配置構成が吟味されています。桜、瓶、果物、加工した紙に至るまでそれぞれの特徴や表情を細部まで丁寧に捉え、筆で丹念に質感の差を描き分けているところに好感が持てます。



**評価コメント**

ワイン瓶を中心に据え、2本の啓翁桜を使って画面の外側に向かって拡張していくようなダイナミックな配置構成です。瓶、啓翁桜の枝、果物とそれぞれの特徴をしっかりと捉え、質感と量感を感じさせることができています。個々のモチーフの輪郭の違いを見極め、細部まで行き届いた観察眼とじっくり取り組もうとする姿勢が随所に垣間見えます。



## 一般選抜入学試験〔後期〕(旧:一般入学試験〔後期〕)

### 問題

実施なし

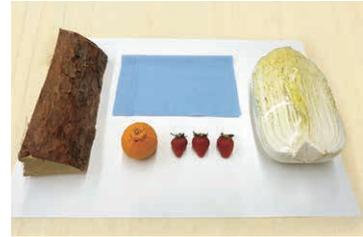
※2020年度の本入試では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別試験を行わなかったため、参考までに「2019年度一般入学試験〔後期〕」の問題と参考解答を掲載します。

## 【参考】2019年度一般入学試験〔後期〕

### 問題

与えられたモチーフを水彩にて描きなさい。

モチーフ：白菜、不知火(しらぬひ)、苺、布、木材



### 参考解答



#### 評価コメント

サイズの大きい白菜を中心に据え、あえて薪と組み合わせることで高低差を出すなど、対象の構成に工夫が見られます。また白菜と青布を重ね、白菜の表情を演出している点も巧みです。白菜、薪、布、そして果物に至るまでそれぞれの特徴や表情を捉えて、描き迫ることが出来ています。特に白菜は、様々な色相を感じ取り、みずみずしい質感が表現出来ています。



## 2021年度出題概要

|            |   |
|------------|---|
| 出題内容       | <p>油彩画制作(アクリル絵の具も可)</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型]: 静物油彩(F12号) / 器物、ガラス、野菜、果物など複数のモチーフがセッティングされた状況を描く</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: 自画像油彩(F10号) / テーマやモチーフの課題に沿って自画像(自身)を描く</p>  |
| 評価のポイント    | <p>「思考力・判断力・表現力」を評価するため、以下のポイントを重視する</p> <p>○総合型選抜入学試験[併願型]</p> <p>描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか</p> <p>構成力: 台上に置かれた複数のモチーフを、適度な大きさと画面上にトリミングし、描くことができているか</p> <p>空間表現: 画面全体のパースペクティブ(遠近感)を把握し、物の前後関係や奥行き、そして背景との繋がりが描かれているか</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]</p> <p>描画力: 対象の形態、質感、色彩を意識し、しっかり描くことが出来ているか</p> <p>構成力: ポーズやモチーフの画面への入れ方、背景との関係を意識できているか</p> <p>発想力: 出題テーマやモチーフの魅力を引き出すためのアイデアを思考し、自然に表現できているか</p> <p>素材の扱い: 油絵具(アクリル絵具)の素材の特性や、筆やナイフなど画材の扱い方を理解し、活かしているか</p> |
| 大学で用意するもの  | <p>○総合型選抜入学試験[併願型]: F12号のキャンパス</p> <p>○一般選抜入学試験・大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]: F10のキャンパス、鏡</p>   |
| 受験者が用意するもの | 油彩画用具一式(アクリル絵の具も可)、描画道具(使用可能用具)   |

### ●アドバイス

総合型選抜入学試験[併願型]、一般選抜入学試験[前期・専願・後期]、大学入学共通テスト[1科目利用]の各試験は、それぞれ出題が異なります。

総合型選抜入学試験[併願型]は、静物モチーフを油彩で描く課題です。台に布を敷き、自然物や工業製品のモチーフが、どの角度からも同じに観えるよう公平に配置されています。描くときに気を付けてほしい重要なポイントは、台とモノの関係やパースペクティブ、明暗、量感、質感など、基本的なモノの捉え方です。工業製品である瓶やガラス、ブロックなどが正確な比率で描けているか、自然物である野菜や果物、植物がみずみずしく彩り豊かに描けているかなど、モノの形態や特徴、色彩や存在感を意識することが大事です。トリミング(画面を切り取る)ことは、モチーフの主役・脇役を考え、全体的に小ぶりにならないように気をつけて下さい。その際に背景の面積の空けすぎにも注意しましょう。モチーフは切れ方や配置が不自然にならないように、大きさや前後関係を考えながら画面の中で多少移動しても構いません。水平の台にモノが安定して置かれている状況や、空間の繋がり(手前・中間・奥)を意識して描いて下さい。

一般選抜入学試験[前期・専願・後期]、大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用]は、自画像を油彩で描く課題で

す。テーマ内容やモチーフの課題に沿って、自身を自由に描きます。従って総合型選抜入学試験[併願型]に比べて、より自由で幅広い表現が可能です。自画像と背景との関係を考慮しながら、ポーズが画面にどのように入るかを意識して下さい。出題テーマは、具体的な状況イメージを想定して、モチーフ課題はそのモノをどのように扱い画面に入れるかを考え、自然な状況を意識して描いてください。自画像の構図は、顔を適度に大きく入れ、角度や動きを意識すると描くポイントや存在感を演出できますが、アイデア次第ではそうでなくても構いません。テーマから導かれる物語性や、モチーフの特性を捉えた個性的なアイデアを考えてみましょう。その際、あまり不自然な状況になり過ぎないように注意して下さい。支給された鏡を活用し、自身の発想力を最大限に活かしながら自画像を描いて下さい。

どちらの入試課題も構図は縦横自由です。油絵具(アクリル絵具も使用可)の素材の特性や色彩、物質感を活かしながら、筆やナイフ、布や指などを工夫して使い、自身の感性を引き出すよう楽しく描きましょう。しかし5時間の短い試験時間内ですので、過度なテクニックを求めてはいけません。あくまで観察を基本に、対象を的確に捉えながら、しっかり描いて下さい。積極的なアプローチを心がけ、絵心溢れる絵画制作をして下さい。

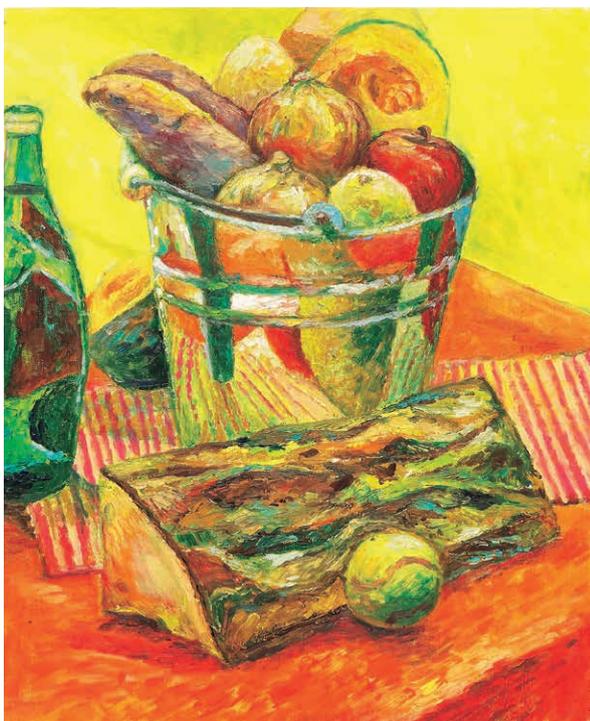
# 総合型選抜入学試験 [併願型] (旧:自己推薦入学試験 A)

## 問題

油彩にてモチーフを描きなさい。



## 参考解答

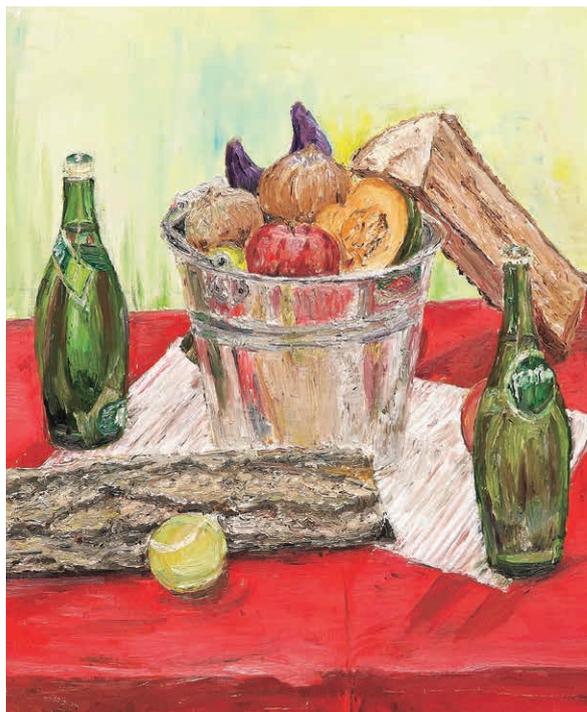


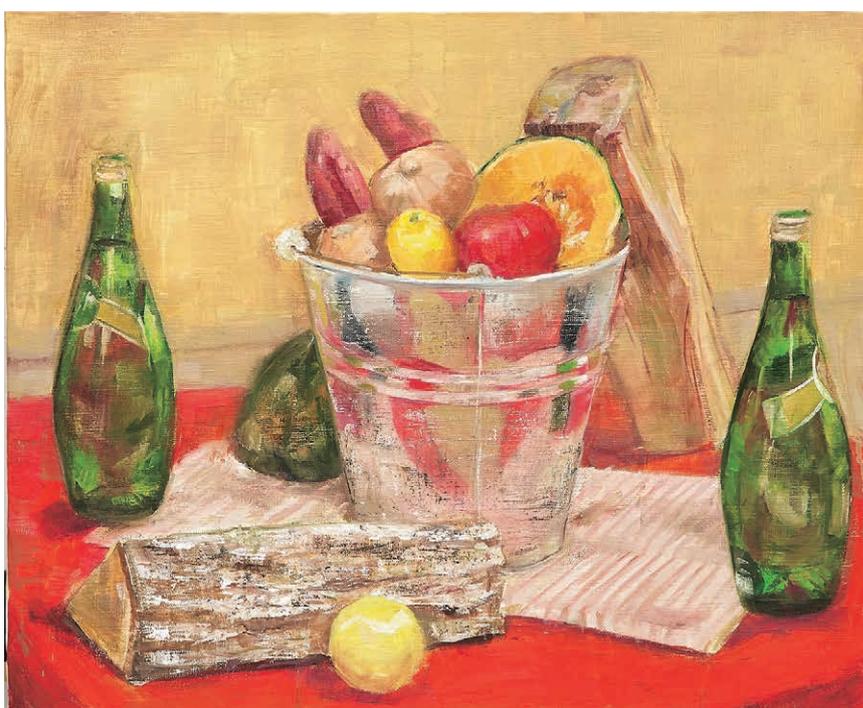
### 評価コメント

画面の中に対象物が大きく配置されているため堂々としています。絵具の扱いも質感に応じて筆致を変化させ魅力的です。台であれば直線的に塗り、薪であれば樹肌のような躍動的な筆運びをしています。油絵具の魅力の筆致を表現するためには沢山の絵具を画面に塗る必要があります、それが絵画の重厚感につながります。

### 評価コメント

描画する絵具の量に強弱をつけることで対象物を強調させています。明暗を色彩だけで表現するのではなく、明部には混色されたホワイトを多く塗ることで物の存在感や立体感を高めます。台上の対象をトリミングせずに描くことは、全てが小さくなり描きこむことが難しくなるのですが、油絵具の素材感を豊かに活かして補っています。



**評価コメント**

前後関係を意識した描きわけによって、対象物全体のスケール感を高めています。手前の薪と奥に描かれた薪を比較してみてください。手前は、細部まで描くことでゴツゴツした質感を強調しています。しかし、奥の薪は背景と同系色に描くことで距離感を強調しています。また、形態を補うために描かれた柔らかく鋭い線も効果的です。多様な種類の筆やペインティングナイフなど、道具の使用によって表現に豊かさを与えます。

一般選抜試験[前期・専願型] (旧:一般入学試験[前期・専願型])

大学入学共通テスト利用入学試験[1科目利用] (旧:大学入試センター試験利用入試[1科目利用])

問題

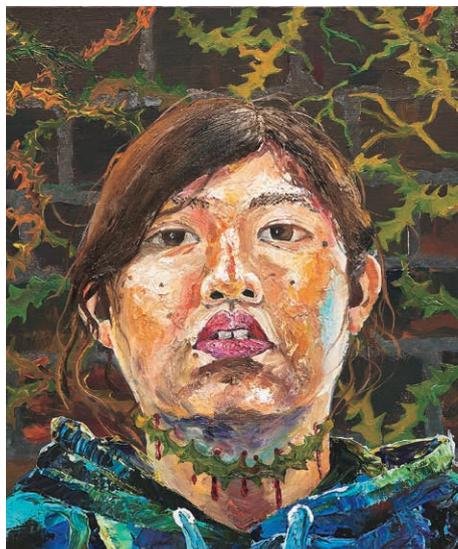
「植物と私」をテーマに、自身を自由に描きなさい。(アクリル絵の具の使用も可)

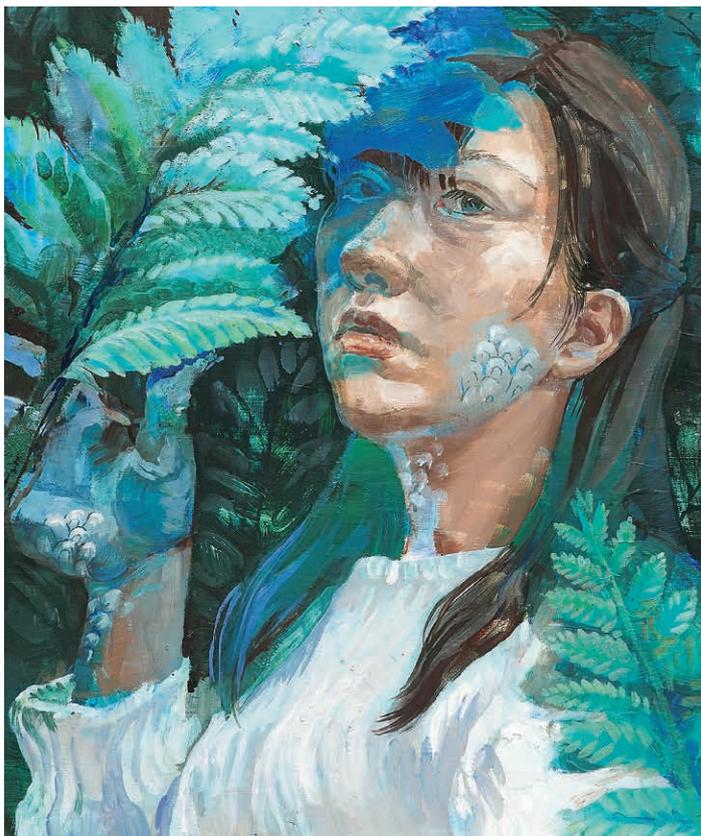
参考解答



評価コメント

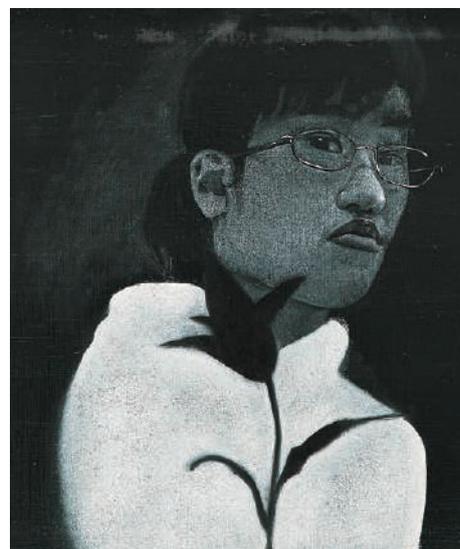
ラフレシアの花から誕生したような自身を描いたユニークな作品です。舌を出した下目遣いのアングルや血を滴らせることで毒々しさを演出し、赤を基調に黄や青などを利かせることで、インパクトのある色彩を表現しています。左上の植物の木々が光を照らすよう差し込まれ、自画像と背景の様々なモノの関係が豊かに描かれています。





評価コメント

ミステリアスな森の茂みに、白服の女性がそっと佇む物語性を感じさせる作品です。顔の角度や目線、暗がりの青の使い方、植物と人物の肌が混ざり合う触覚的な効果は、自身の神秘的な世界観を上手く表現しています。顔の細部の描画も勿論のこと、植物のシルエット的な扱いや構成のバランス感覚、ネガポジの表現効果も絵画的な魅力に繋がっています。



## 一般選抜入学試験〔後期〕(旧:一般入学試験〔後期])

### 問題

実施なし

※2020年度の本入試では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、個別試験を行わなかったため、参考までに「2019年度一般入学試験〔後期〕」の問題と参考解答を次ページに掲載します。

## 【参考】2019年度一般入学試験〔後期〕

### 問題

与えられたモチーフを自由に使い、自画像を描きなさい。

モチーフ：虫眼鏡



### 参考解答

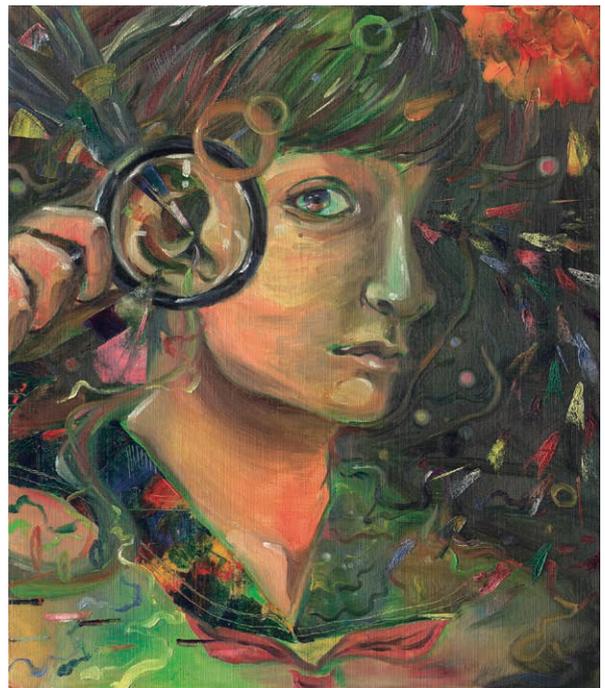


#### 評価コメント

軽快に背景を二分する色面に対し、自画像を的確な描写でしっかりと捉えているところはとても良く、技術的な巧みさを感じます。その反面、モチーフの虫眼鏡の特徴をあまり活かした表現に至っていません。もっと積極的にアプローチし、モチーフの扱いをねらいとして考えて欲しいところです。画面下三分之一が希薄になっていることも表現を弱くしています。

#### 評価コメント

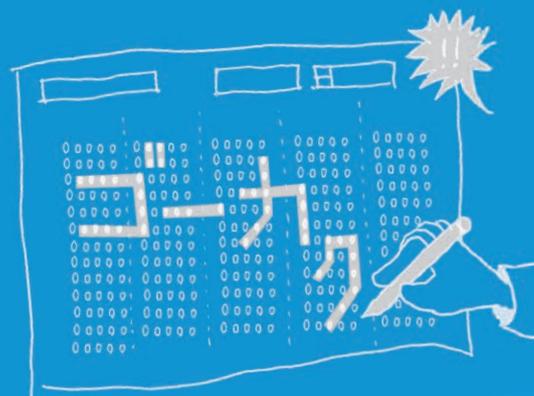
絵の具をたっぷりを使い臆面もなく表現しようとする意欲をこの絵には感じます。耳や目からは勢いよく様々な物が飛び出し自画像を取り巻くことで画面に動きを与えています。右目の印象が強く、絵のねらいである虫眼鏡で拡大した耳があまり見えてこないのが残念。拙さは感じますが、伸び伸びと勢いよく描いている感じは楽しそうで感覚の豊かさがあります。



冊子内で見開きとするため、本ページは空白となっています。

# 教科科目

英語 / 国語 / 数学



## 2021年度出題概要

### 英語

試験時間 60分

出題範囲 コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ  
英語表現Ⅰ(筆記試験のみ)(リスニングテスト及びスピーキングテストは実施しない)

評価のポイント 英語の基本的理解力及び読解力

問題→P.52～P.61 問題解答→P.72

### 国語

試験時間 60分

出題範囲 国語総合(古文・漢文を除く)

評価のポイント 日本語の読解力及び日本語による表現力

問題→P.62～P.67 問題解答→P.73

### 数学

試験時間 60分

出題範囲 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学A、数学B  
空欄補充式(80点)と記述式(20点)による。数学Aについては「場合の数と確率」、「図形の性質」から1題を選択して解答する。数学Bについては「数列」、「ベクトル」から1題を選択して解答する。

評価のポイント 数学の基礎についての理解力

※数学において、基礎についての理解力に加えて、「思考力・判断力・表現力」を評価するために、過程を含めて記載を求める記述式問題を出題します。

問題→P.68～P.71 問題解答→P.74～P.76

英語

第1問 次のA~Cの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)~(5)の発話に対する応答としてもっとも適切なものを下の1~5のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) Hi, I'm from ABC Radio News. May I ask you a few questions?
  - (2) I'm afraid I was not much help.
  - (3) Shall we start our city tour?
  - (4) Would you like some wine?
  - (5) How would you like it?
- 1 That sounds great. Follow me!
  - 2 No. Thank you all the same.
  - 3 With sugar and cream, please.
  - 4 Sure. What are you covering?
  - 5 Oh, but you were.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1-3-2-4

- (1)
  - 1 Not you, too! Am I the only person in the world who can live without one of those machines?
  - 2 And what's so great about that?
  - 3 Congratulate me. I just went into debt.
  - 4 I did it in order to buy a mobile phone! That's definitely a good reason, don't you think?
- (2)
  - 1 We did, too.
  - 2 Well, we certainly had a wonderful time!
  - 3 Well, it's been wonderful having you. You know where we live now, so come again!
  - 4 Everything was perfect. We really appreciate all you've done for us.

1

C 次の(1)~(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1~4のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) She agreed \_\_\_\_ him about the summer vacation plan.  
1 with 2 to 3 by 4 in
- (2) What brought \_\_\_\_ your change in mind?  
1 in 2 up 3 after 4 about
- (3) What do the letters TAP stand \_\_\_\_ ?  
1 over 2 for 3 up 4 by
- (4) Who translated most of Murakami's novel \_\_\_\_ English?  
1 into 2 from 3 in 4 for
- (5) My grandmother comes to stay with us \_\_\_\_ once a month.  
1 at least 2 at the latest 3 at last 4 at once
- (6) You must \_\_\_\_ to me why you were absent yesterday.  
1 examine 2 explain 3 execute 4 exclude
- (7) I \_\_\_\_ the room for the lost key.  
1 searched 2 left 3 abandoned 4 replaced
- (8) She is always \_\_\_\_ about the way I do things.  
1 completing 2 considering 3 conducting 4 complaining
- (9) Would you \_\_\_\_ a cloth over the table?  
1 supply 2 succeed 3 suppose 4 spread
- (10) Human beings \_\_\_\_ many physical features with monkeys.  
1 wound 2 share 3 inquire 4 require
- (11) We can have this cloth \_\_\_\_ on the water.  
1 to float 2 floats 3 floating 4 to be floating
- (12) \_\_\_\_ the teacher's saying so, the students burst out into laughter.  
1 The moment 2 As 3 On 4 When

2

(13) I want this baggage \_\_\_\_\_ to my room now.  
 1 take 2 taken 3 taking 4 to take

(14) I am very \_\_\_\_\_ for what I said to my son yesterday.  
 1 regretting 2 regrettable 3 regretful 4 regretted

(15) Have you \_\_\_\_\_ been to Japan in your life?  
 1 still 2 already 3 ever 4 yet

(16) I was \_\_\_\_\_ to reach them by phone, so I went to their house.  
 1 difficult 2 impossible 3 hardly 4 unable

第2問 次のA～Bの各問いに答えなさい。(配点50)

\*が付された語には注が与えられているので、参考にしなさい。

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

### Gambare: Doing Your Best in Japan

Eri: Hello Tom. How is your new ALT\* job?

Tom: ①

Ken: Any problems so far?

Tom: Not really. There are a few things I don't understand, though.

Ken: Like what?

Tom: Well, I often hear this word, “*gambare*”, and ②

Eri: Oh, that's just a word of encouragement urging someone to do their best. Teachers often use it in the classroom to encourage students to try harder in their schoolwork.

Ken: You'll also hear students use it on the playing field, to encourage players to practice hard so they'll win the game. ③, you'll even hear workers using it in the office to convince fellow workers to work hard ④ boost company sales.

Tom: So this expression is used a lot, then.

Ken: Absolutely. You've hit on a custom that is distinctly Japanese – urging others to do their best. It is really built into the Japanese character, and its origin of use goes back a ways into Japanese history.

Eri: That's right, Tom. I learned the background of *gambare* ⑤ my Japanese history teacher, Mr. Suzuki. He pointed out to us how everyone is always going around shouting “*gambare*”, yet not many understand its origins. So, he made us all do

research into the world's historical background.

Tom: And what did you find out?

Eri: Well historically, there are three main reasons why *gambare* has become engrained\* in the Japanese psyche\*. One has to do with rice growing. Because of the way rice is grown in Japan, intensive labor is required ① short periods of time, demanding that everyone involved work with their entire strength. This situation helped establish the *gambare* spirit in Japan – everyone needed to “do their best” to get the rice planted and harvested. Another reason for *gambare*'s use is the difficult climate and geography in Japan.

Tom: How so?

Eri: As you know, floods, typhoons and earthquakes are common in Japan. These occurrences serve to keep the Japanese people a little bit on edge, ready to spring into action to do their best when called to do so. Ken, do you know the third reason behind *gambare*'s historical origins?

Ken: Do I?! I was in the same history class with Mr. Suzuki, remember? Tom, the third reason has to do with the ability of people in Japan to change their social status. After the class system of the Edo period was abolished, people were able to improve their position in society through their own hard effort, or *gambare*.

Tom: Well, this conversation has been very interesting, but I have to get back to work – we're preparing the students for their difficult entrance exams.

Eri: OK Tom. Good luck, and “*gambare*”!

[注] ALT: Assistant Language Teacher engrain: しつかりと植えつけられた  
 psyche: 精神

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 I really like that.
- 2 I really like it.
- 3 They really like it.
- 4 I liked it a lot.

(2) 文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 I'm sure what it means.
- 2 I know what that means.
- 3 I'm not sure what I mean.
- 4 I'm not sure what it means.

(3) 文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

1. In fact
2. The fact
3. The facts are
4. In the facts

(4) 文中の④~⑥に以下の(A)~(C)の表現を入れるときの正しい順番を、下の1~6のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

(A) through (B) for (C) to

- 1 (B) - (A) - (C)
- 2 (A) - (B) - (C)
- 3 (C) - (B) - (A)
- 4 (B) - (C) - (A)
- 5 (C) - (A) - (B)
- 6 (A) - (C) - (B)

(5) 次の [1]~[4] の質問に対する答えを、それぞれ下の1~4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- [1] Which of the following statements is false?
- 1 The word *gambare* is used a lot in Tom's presence.
  - 2 It's not clear to Tom how *gambare* is used.
  - 3 It's clear to Tom how *gambare* is used.
  - 4 Tom finds out a lot about *gambare*.

[2] Which of the following statements is true?

- 1 The use of *gambare* is part of Japanese cultural history.
- 2 Tom knew a lot about *gambare*'s history.
- 3 *Gambare*'s use in Japan is of recent origin.
- 4 The Japanese built characters into their history.

[3] Which of the following statements is false?

- 1 Eri and Ken took the same Japanese history class.
- 2 Rice growing is not connected with the use of *gambare*.
- 3 Natural disasters helped promote *gambare*'s use in Japan.
- 4 Ken knew a lot about *gambare*'s use in Japan.

5

[4] Which of the following statements is true?

- 1 Tom didn't learn much about the meaning of *gambare*.
- 2 Before the Edo period, Japanese people could easily change their social status.
- 3 Tom is preparing for his entrance exam.
- 4 People in Japan can improve their position in society by doing their best.

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

### Shinto and Buddhism in Japanese Funerals

Most funerals in Japan today are Buddhist-style, and there are many Buddhist rituals performed before, during and after these funerals. However, Shinto beliefs are reflected as well, and you will find elements of both religions present in a typical Japanese funeral.

Ancestor worship is an important element in Japanese funerals. Most historians believe that ancestor worship was imported to Japan from China, during the Tang Dynasty\*. After it arrived in Japan, ancestor worship became an important part of Shinto. Shinto was a religion in ancient Japan that had focused on the natural world, and it was believed that there were guardian gods in every region of nature: gods of the mountains, gods of the sea, the trees, earth, fire, water, etc.

The ancient Japanese came to believe that these guardian gods were the souls of ancestors. Later in history, when Buddhism was introduced to Japan, Shinto got along well with Buddhism because the two religions had many common beliefs regarding the importance of respecting the souls of ancestors.

When Buddhism first arrived in Japan during the Nara period, it flourished under the protection of the nation's rulers. Buddhist rituals for funerals, for example, became popular. Afterwards, cremation\* was introduced from India, and burning the body of the deceased became a part of Buddhist funeral rituals, as it was seen as a better way to purify death. Since the Japanese have always been sensitive about impurity, and because both Shinto and Buddhism concern themselves with purification, both of these religious traditions influence purification rituals to this day in Japan.

For example, one of the first things that a bereaved\* family does for the deceased is to cleanse the body of impurities with hot water. The body is then dressed by members of the family in a white kimono, also a symbol of purity. In many aspects of the funeral, Shinto and Buddhism are in agreement about the importance of purification.

Continuing with Buddhist funeral traditions, the local family Buddhist temple plays an important part in all activities regarding the deceased. A Buddhist priest is dispatched from the temple, and is involved in burning incense\*, chanting sutras\*, praying, giving the deceased a special name for the afterworld, and conducting services on multiple prescribed

6

days after the person dies. Finally, on the forty-ninth day after death, a big Buddhist ceremony is held. Here the ashes of the deceased are buried, and the family in mourning returns to a normal life.

So it can be seen that in Japan today, while most people choose Christian or Shinto ceremonies for weddings, it is the Buddhist-style rituals, many of which are influenced by Shinto, that are preferred for funerals.

[注] Tang Dynasty: 唐王朝      cremation: 火葬      bereave: 死別する  
incense: お線香      sutras: お経

(1) 次の [1]~[5] の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1~4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] China \_\_\_\_\_ ancestor worship to Japan.

- 1 imported
- 2 reported
- 3 introduced
- 4 produced

[2] Shinto and Buddhism \_\_\_\_\_ many of the same beliefs.

- 1 common
- 2 share
- 3 alike
- 4 similar

[3] Purity is an important concept \_\_\_\_\_ Japanese culture.

- 1 in
- 2 at
- 3 on
- 4 with

[4] When a person dies in Japan, a Buddhist priest is \_\_\_\_\_ immediately from the temple.

- 1 come
- 2 sent
- 3 detached
- 4 given

[5] Forty-nine days after a person dies, the deceased's family can \_\_\_\_\_ a bit.

- 1 relax
- 2 rely
- 3 celebrate
- 4 prefer

(2) 次の [6]~[9] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1~4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[6] Which of the following statements is false?

- 1 In Japan, the deceased's body is cleaned right away.
- 2 Shinto and Buddhism disagree about the concept of purity.
- 3 A typical Japanese funeral will reflect both Shinto and Buddhist traditions.
- 4 Shinto and Buddhism are alike in some ways.

[7] Which of the following statements is true?

- 1 Ancestor worship was exported from China to Japan.
- 2 Ancestor worship was exported from Japan to China in the Tang Dynasty.
- 3 Ancestor worship is important in Shinto, but not so much in Buddhism.
- 4 People in Japan prefer Buddhist-style rituals for weddings.

[8] Which of the following statements is true?

- 1 When Buddhism first came to Japan, it was unpopular.
- 2 A deceased person is dressed in white as a sign of impurity.
- 3 Shinto beliefs are not represented in Japanese funerals.
- 4 In Buddhism, a person receives a new name when they die.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 Cremation is seen as a way of purifying the body for the afterlife.
- 2 Indian culture has had no influence on Japanese funeral traditions.
- 3 There are many services for the deceased after the funeral.
- 4 In Japan it is believed that the gods of the mountains are actually the souls of ancestors.

(3) 次の [10]~[12] の英文において、それぞれ下の 1~3 の語を並べ替えて空欄を補い完成するとき、( ) に入る語はどれか。番号で答えなさい。

- [10] A Buddhist priest plays a role in almost everything ( ) \_\_\_\_\_ a Japanese funeral.  
1 do      2 with      3 to
- [11] A bereaved family mourns \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ the deceased for 49 days.  
1 loss      2 the      3 of
- [12] Purification at the time of death is considered \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ in Japan.  
1 of      2 importance      3 great
- (4) 次の[13]、[14]の間に英語で答えなさい。
- [13] Why is purification an important part of Japanese funerals? What are some examples of purification.
- [14] Cultural traditions of one country are often influenced by those of another. Give some examples from the text of such influences.

## 英語

第1問 次のA～Cの各問いに答えなさい。(配点50)

A 次の(1)～(5)の会話に続く応答としてもっとも適切なものを、下の1～5のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい

- (1) Oh, is this a map of Korea?
  - (2) You might have had a serious accident.
  - (3) I wonder if I might ask you a favor.
  - (4) I've heard a lot about you.
  - (5) The news can't be true.
- 1 But it is.
  - 2 Yes, of course. What do you want?
  - 3 Yes, I was very lucky.
  - 4 I hope it's not all bad.
  - 5 Yes... Let's check it out.

B 次の(1)、(2)の各文を会話が成立するように並べ替え、番号で答えなさい。

(例) 1-3-2-4

- (1)
  - 1 They are showing a very good film at ABC Theater.
  - 2 Well, I think so.
  - 3 Are you talking of Green Book?
  - 4 Say, John. Are you free this coming Sunday?
- (2)
  - 1 Very much. But I didn't know you collected coins.
  - 2 Oh, for about thirty years! What made you start?
  - 3 How do you like my collection of old coins?
  - 4 Sure, I've been collecting them since I was in elementary school.

C 次の(1)～(16)の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の1～4のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

- (1) Please refrain \_\_\_\_\_ smoking here.  
1 from 2 out 3 off 4 down
- (2) His character was molded by the trials he went \_\_\_\_\_.  
1 with 2 though 3 through 4 by
- (3) He was not satisfied \_\_\_\_\_ the results.  
1 into 2 for 3 onto 4 with
- (4) I had my purse \_\_\_\_\_ in the train.  
1 driven 2 forgotten 3 beaten 4 stolen
- (5) I \_\_\_\_\_ the tennis club last year.  
1 joined 2 joint 3 juggle 4 jug
- (6) The doctor \_\_\_\_\_ that you should give up smoking.  
1 reopen 2 reconsider 3 recommended 4 revise
- (7) It took him one week to \_\_\_\_\_ from his sickness.  
1 cover 2 discover 3 undercover 4 recover
- (8) Our teacher, \_\_\_\_\_ to speak, is like a walking dictionary.  
1 so 2 as 3 like 4 able
- (9) Most \_\_\_\_\_ creatures in the sea are affected by pollution.  
1 lived 2 alive 3 livable 4 living
- (10) There is not \_\_\_\_\_ news in today's paper.  
1 much of 2 many 3 much 4 many of
- (11) \_\_\_\_\_ wants to see me?  
1 Is it who that 2 Who is it that 3 Is it that who 4 Who it is that
- (12) John had to work late yesterday. \_\_\_\_\_ ?  
1 doesn't he 2 didn't he have 3 has he not had 4 didn't he

(13) We searched for the two girls, but \_\_\_\_\_ was found.  
 1 neither 2 both 3 either 4 none

(14) She knows \_\_\_\_\_ is expected of her at school.  
 1 what 2 when 3 where 4 which

(15) This cloth feels \_\_\_\_\_.  
 1 like smooth 2 smoothly 3 smooth 4 to be smoothly

(16) The translator found it impossible \_\_\_\_\_ what I meant.  
 1 explain 2 have explained 3 to be explained 4 to explain

第2問 次のA～Bの各問いに答えなさい。(配点50)

\*が付された語には[注]が与えられているので、参考にしなさい。

A 次の会話を読んで、以下の問いに答えなさい。

**Aimai: Ambiguity and the Japanese**

Rin: Hi Ann. How was your potluck\* dinner party?  
 Ann: Hello Rin. ① Everyone brought something different, so we had a nice variety of things to eat.

Yui: ②  
 Ann: I prepared my famous vegetarian tacos. But I'm not sure everyone liked them.

Rin: ③  
 Ann: Well, at the party I asked Hiroshi if he liked the tacos, and he said "not so bad". I thought he meant "not bad", which is a common English expression meaning "good". But later I was talking to Ayumi and she said Hiroshi didn't like the tacos ④ all. I'm a bit confused.

Rin: I think Hiroshi was avoiding a direct answer to your question about the tacos, because he didn't want to make you feel bad. He was practicing *aimai*, which is the Japanese custom of deliberately using words ⑤ unclear meaning.

Ann: You mean Japanese people purposely speak in an unclear way?  
 Yui: At times, yes Ann. Practicing *aimai* is actually considered a virtue in Japan, and the Japanese language is full of ambiguous expressions that can have more than one meaning.

Rin: That's right, Ann. In the past, because Japan did not have a lot of inhabitable land, people had to live close to one another, in tight-knit\* communities. Harmony in the group was an important part of daily life. Anything ⑥ disturbed that harmony, or *wa*, was avoided. So rather than directly criticizing someone, for example, ambiguous expressions were introduced so that the harmony of the group would not be upset.

Yui: You know Rin, rice growing influenced *aimai* as well, because people had to get along in the difficult task of growing rice. In the villages, people would make their opinions conform with the group, for fear of upsetting harmony and being excluded from the community. Japanese people often avoided expressing their ideas clearly, and would often refrain from giving a simple yes or no answer. People's words came to contain a variety of meanings, and the concept of *aimai* became important in Japanese culture.

Ann: But couldn't *aimai* create problems with basic communication?

Rin: Yes, there is a downside to ambiguity, especially for those visiting Japan from abroad. It is often difficult for foreigners to get an honest "no" from a Japanese, because affirmation is seen as a virtue.

Yui: And let's say a foreigner were to ask a Japanese person, "Which will you have, coffee or tea?" The Japanese might reply, "Either is OK." You don't really know which they'd prefer, because they are purposely being ambiguous.

Ann: Wow, that can be confusing.

Yui: That's right. So Ann, for your next potluck party I suggest you make fried rice. Hiroshi loves it!

[注] potluck : 持ち寄りの tight-knit : 緊密な

(1) 文中の①に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 We were great
- 2 I was great.
- 3 It was great.
- 4 I was late.

(2) 文中の②に入れるのに最も適当なものを、下の1～4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Who did you make, Ann?
- 2 What did you eat, Ann?
- 3 How did you make it, Ann?
- 4 What did you make, Ann?

(3) 文中の③に入れるのに最も適当なものを、下の1~4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

- 1 Why do you say that?
- 2 What did you say?
- 3 Then did you say that?
- 4 Who did you say that?

(4) 文中の④~⑥に以下の(A)~(C)の表現を入れるときの正しい順番を、下の1~6のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

(A) with (B) at (C) that

- 1 (C) - (A) - (B)
- 2 (A) - (C) - (B)
- 3 (B) - (A) - (C)
- 4 (C) - (B) - (A)
- 5 (A) - (B) - (C)
- 6 (B) - (C) - (A)

(5) 次の[1]~[4]の質問に対する答えを、それぞれの1~4のうちから一つ選び、番号で答えなさい。

[1] Which of the following statements is true?

- 1 Everyone brought the same thing to eat to the party.
- 2 Not everyone liked all the food at the party.
- 3 Everyone liked all the food at the party.
- 4 Everyone ate the same thing at the party.

[2] Which of the following statements is false?

- 1 Hiroshi didn't like the tacos, and said so.
- 2 Hiroshi didn't like the tacos, but didn't tell Ann.
- 3 The tacos were good, but Hiroshi didn't like them.
- 4 Ann was confused because Hiroshi told Ayumi he didn't like the tacos.

[3] Which of the following statements is true?

- 1 Japanese people don't like speaking in an unclear way.
- 2 Ambiguous expressions have only one meaning.
- 3 Living close together makes Japanese people disturb the harmony.
- 4 Speaking in an unclear way can cause problems in Japan.

[4] Which of the following statements is false?

- 1 Telling the truth is not always the best policy in Japan.
- 2 Foreigners have no problems with the *aimai* system in Japan.
- 3 The *aimai* system can be confusing to overseas visitors in Japan.
- 4 Japanese people don't want to disturb the harmony of the group.

B 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

### The *Ie* System

*Ie* in Japan is defined as "a network of households related through their respective heads, traced down through generations of ancestors." The foundations of *ie* are based on ancestor worship: all families had ancestors they worshipped, and these ancestors were seen as part of the family line. People worshipped these ancestors because they felt they brought good luck to a family, and not to honor them could cause a family to become cursed. Family members had an obligation to preserve the graves of their ancestors, visit the graves periodically, and to keep a family altar\* in the house for ancestor worship.

Patriarchism is one of the main characteristics of *ie*. The head of the household (generally the senior male) was given special treatment. The household head had absolute power over the family, and all family members had to obey him. He had great financial power as well, and had total control of the family property. Because there was a single heir that inherited the wealth and property of the family, the line of succession was important, and family members related by blood to the head male's family were particularly well-respected.

As succession to the future was important, it was a duty of all family members to ensure the family line. If there was no direct descendant, adoption was allowed in order to continue the family line. Since the Edo era, adoption has been seen as an alternate way to ensure family succession; though direct blood lineage was important, it was more important to continue the family line, even if adoption was the only way.

Before WWII, *ie* was firmly established in the family section of Japanese law. The law regarded the *ie* system as of primary importance in family affairs. Taking the *ie* system of ex-Samurai as its model, the Japanese legal system ensured that *ie* continued to have a great influence on ideology and morals in Japanese society. The head of the household was given legal power over other family members, and could make decisions for the family regarding marriages, divorces, and adoptions, and could legally grant\* residences to family members. Also, even after children achieved majority\*, the patriarchal head of the family could still choose where his children lived, and he could control and manage the property of his children and his children's wives.

After WWII, changes in the legal code in Japan lessened the power of *ie*. But although the

position of the head of the household has lost its legal foundation, traditional ways of thinking about the family and its ancestors remain strong; the *ie* system is alive and well in Japan.

[注] altar : 仏壇 grant : 与える achieved majority : 成人に達する

(1) 次の [1]~[5] の空欄に入れるのに最も適当な語を、それぞれ下の 1~4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[1] Families believed that ancestors brought good \_\_\_\_\_ to the family.

- 1 lucky
- 2 fortunate
- 3 fortune
- 4 lucks

[2] People were \_\_\_\_\_ to take care of their ancestors' graves.

- 1 inspected
- 2 expected
- 3 oblige
- 4 wanted

[3] Patriarchy is a social system dominated by \_\_\_\_\_.

- 1 heirs
- 2 heads
- 3 men
- 4 man

[4] The household head had great \_\_\_\_\_ control over the family.

- 1 money
- 2 economical
- 3 economy
- 4 economic

[5] Even after children achieved \_\_\_\_\_, the patriarch still had legal control over them.

- 1 adulthood
- 2 adult
- 3 age
- 4 minority

7

(2) 次の [6]~[9] の質問に対する答えを、それぞれ下の 1~4 のうちから一つずつ選び、番号で答えなさい。

[6] Which of the following statements is true?

- 1 The Samurai took the *ie* system and made it into law.
- 2 Before WWII, *ie* gained legal status throughout Japan.
- 3 After WWII, the power of *ie* became stronger than ever.
- 4 After WWII, *ie* was no longer popular in Japan.

[7] Which of the following statements is false?

- 1 When the patriarch died, his power was transferred to his heir.
- 2 Women were rarely head of the family.
- 3 For a while under *ie*, even adults had to legally obey their parents.
- 4 The patriarch gave special treatment to the family.

[8] Which of the following statements is true?

- 1 Legal adoption could produce an heir who was not originally part of the family.
- 2 Under the *ie* system, an heir had to be related by blood to the head male.
- 3 *Ie* was never really part of the Japanese legal code.
- 4 Before the Edo period, there was no adoption.

[9] Which of the following statements is false?

- 1 At one time, the head of the household could decide where his adult children could live.
- 2 According to the law, a patriarch could choose a wife for his son.
- 3 Ancestor worship was part of the Japanese legal system.
- 4 Today, *ie* continues to influence Japanese society.

(3) 次の [10]~[12] の英文において、それぞれ下の 1~3 の語を並べ替えて空欄を補い完成するとき、( ) に入る語はどれか。番号で答えなさい。

[10] In the *ie* system, a patriarch could tell his children ( ) \_\_\_\_\_.

1. marry
2. to
3. who

[11] Obon is \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ ancestor worship in Japan.

1. time
2. for
3. a

[12] *Ie* \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_ Japan today.

1. on
2. lives
3. in

8

(4) 次の[13]、[14]の問に英語で答えなさい。

[13] In the family, who benefits from the ie system? How do they benefit?

[14] You are the family patriarch. Name some of the powers you have over the family.

国語

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

科学は自然の対象を観測し、そこに存在する構造や機能の法則性を明らかにする。ある対象領域に成り立つ法則を発見した、法則を確立したというのは、どのようにして保証するのだろうか。

ボールを投げると放物線をえがき、ある一定の距離に落ちる。ある物質と物質を混ぜて、ある一定の温度に保つと、反応してある物質ができる。こういった多くの実験から、そこにある種の規則性を認識し、そこから法則を確立していくわけであるが、その法則は実験によって確かめるというプロセスを絶対的に必要とする。しかも、誰がやっても同じ結果が得られるということではなければならない。

A、科学は自然のなかに存在する対象を分析し、そこから法則を①チェクシユツし、対象を分析的に理解するということに中心があつた。(1) こうして法則が確立されると、つぎの段階として、これらの法則の新しい組み合わせを試みることによって、それまで世界に存在しなかつた新しいものをつくりだせる可能性があることに、人々は気づいたわけである。

法則を組み合わせ、実験をしてみ、もとの対象が復元できることを確かめるところまでは、科学の領域であろうが、法則をいろいろと新しく組み合わせ、何か新しいものをつくつていくというつぎのステップは、シンセンス、あるいは合成・創造の立場であり、それが現代における技術であるということが出来る。つまり、現代技術は科学の法則を意図的にあらゆる組み合わせで使つてみて、何か新しいものをつくりだして、こうとする明確な②イトをもつたものとなつていて、(2)これが従来の技術とは明確に異なつているところである。

このように分析と合成とは対概念となり、したがつて科学と技術も対概念であり、(3)コインの裏表の関係であると理解される。そこで、これら全体は《 》という一つの問題、一つの言葉としてとらえることができるだろう。

科学と技術はまったく異なる概念で、《 》という表現は適当でないという考えをする人もある。しかし、現代科学は高度の技術なしにはありえず、その技術も科学によつて支えられている。今日では、科学者自身がシンセンスの領域に本格的にのりだしてくる一方で、技術者のほうも、技術を押しすすめるために本格的な科学的基礎研究をおこなつている。

B、科学と技術の境界は③ハンゼンとしなくなつてきているうえに、何か新しい発見があると、これがただちに技術の世界に使われて新しい発明につながり、これがまた基礎研究にフィードバックされるという、ひじょうに速いサイクルをえがく時代になつている。そういった状況からも、これら全体を《 》と呼ぶのが適当であるというわけである。

(4)二〇世紀の技術は、それ以前の技術とはまったく異なるものである。昔の技術は、アート(art)という言葉がしめすように、その道の専門家の直観と努力によつて磨きぬかれた技芸であり、芸術にせまる何ものかであつたわけで、科学とは何の関係もないものであつた。ところが、二〇世紀における技術は、科学によつて確立された対象についての法則を、イト的、体系的、④モウラの組み合わせで用い、新しいものを手当たりしだいにつくりだすというものである。これが現代技術のもつてきた特徴である。

【C】化学においては、一九三六年に高分子の構造が明らかにされ、この理論にもとづいて、ナイロンが発明されて以来、高分子合成工業が強力に⑤スライシシされ、新しい物質がつぎつぎとつくりだされてきた。新しい薬品なども同様の考え方でどんどんとつくりだされている。宇宙科学も、一九五七年のスペースドック以後の発展は目ざましく、今日では宇宙空間に人が住む場所を建設するというところにまできているわけである。原子力発電はいうまでもない。

最近のもつとも注目すべきことは、DNAの存在の確認と、遺伝子とその意味の解明がすすみ、多くの生物の遺伝子構造が明らかにされはじめていることである。その結果、遺伝子工学と呼ばれる分野が形成され、遺伝子組み換えなどをつうじて、新しいタンパク質を合成しようとする生命情報科学の時代に入っていくとしている。過去半世紀間に《 》が膨大な数の新しい物質をつくりだしてきたように、遺伝子工学はこうして自然界に存在しない生物をどんどんとつくりだそうとしているのである。

このように見てくると、今日の《 》のほとんどあらゆる分野が、アナリシス(分析・解明)の時代からシンセシス(合成・創造)の時代に入っていくつとあると考えられる。したがって、二〇世紀を科学の時代というならば、二一世紀はシンセシス中心の《 》の時代となることはまちがいない。

【D】、一つの大きな問題が浮かび上がってくる。これまでの科学は、神が創造した地球と自然、そしてそこに存在する物を観察し、理解するということをおこなってきた。(5) そのかぎりにおいて、科学は謙虚であり、科学は価値中立であるとされてきた。しかし、神のみがもっていたものを創造する秘密を、今日私たち人間が手に入れ、あらゆる法則を無原則的に組み合わせ、できることは何でもおこない、どんどんと新しいものを勝手につくりだしつつあるわけである。そして、それらはけっして地球と自然、生物や人間にとつてよいものばかりではない。一見よいものと見えても、長期にわたつてながめてみれば、深刻な問題をもたらすものもたくさんつくりだしているのである。

【E】、今日の《 》においては、価値中立ということはありません。(6) 私たちがつくりだすものについてははつきりした責任を負うべきであろう。二一世紀にはあらゆる《 》の分野において、分析の時代が終わつて、創造の時代に入っていくことは明らかであるから、《 》に対する(7) 人類の責任は重大である。

(長尾真『「わかる」とは何か』による。なお、本文に一部変更がある。)

問1 傍線部①～⑥のカタカナ部分を漢字に直しなさい。

問2 文中の【A】～【E】に入るべきことばの組み合わせとして適切なものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア A (そこで) B (こうして) C (このように) D (したがって) E (たとえば)
- イ A (このように) B (こうして) C (たとえば) D (そこで) E (したがって)
- ウ A (したがって) B (たとえば) C (こうして) D (このように) E (そこで)
- エ A (こうして) B (そこで) C (たとえば) D (したがって) E (このように)

問3 文中の《 》には四字の漢字からなる複合語が入る。漢字で答えなさい。

問4 波線部(1)の「法則が確立される」ための条件を二つ、いずれも十五字程度の表現を抜き出しなさい。

問5 波線部(2)の指し示す内容を、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問6 波線部(3)の表現を、四字熟語の漢字表現に改めなさい。

問7 波線部(4)についてまとめた次の文章の空欄に、適切な表現を補って完成させなさい。

昔の技術は(Ⅰ十五字以内)だが、現代技術は科学(Ⅱ二十五字以内、読点を含む)新しいものをつくりだす作業だ。

問8 波線部(5)についての説明として最も適当なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 地球と自然を観察・理解したうえで発展的に新しいものを創造しただけで神の教えには反していないこと。
- イ 神の領域を逸脱することなく、人間に与えられた範囲において観察・理解して世界を作ってきたこと。
- ウ シンセンスの時代の科学に対応するために、神との妥協を図り新しいものを創造すること。
- エ 地球と自然を観察・理解することに専念し、新しいものや合成物などを作りだすことはしなかったこと。
- オ 専門家の直感と努力によって磨きぬかれた技術によつて、芸術品を作成し神に捧げてきたこと。

問9 波線部(6)について、筆者が主張する「負うべき責任」とは何か。その内容として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

- ア 神の領域を超えた不適な科学の成果は、有害なものとして破棄すべきである。
- イ 科学の成果を有効利用することは人類の発展にとって欠かすことができない。
- ウ 観察・理解だけでは現代科学は立ちゆかず、合成・創造は人類・環境への影響を配慮すべきだ。
- エ 科学の進展は神の命令に背くことになるが、人類の利益のために停滞させるわけにゆかない。
- オ 神の領域を超えない範囲での科学の進展は認められるべきであり、今まで以上に貢献すべきである。

問10 波線部(7)について、その理由はなにか。四十字以内の説明部分を、解答欄にあらかじめ、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

## 国語

問題 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

(エ) グローバリゼーションとは何か、とその①サインを考えてみると、少なくともその変化を表面的に②オオっているのは、現代アメリカの作り出した大衆文化あるいは生活様式です。高層ビルもハンバーガーも、二〇世紀アメリカの経済力によってつくり出されたものであり、それが世界中に発信され、どの国の大都市にも波のように押し寄せているのだと思います。

A、グローバリゼーションは「アメリカ化」と同じことなのかというと、必ずしもそうとは言いません。グローバリゼーションを構成する製品、たとえばベツドホンステレオなどは日本製品が多く、ビデオやコンピューターの多くもアジアの国々で生まれていて、それが物質のグローバリゼーションを推し進めているところがあるからです。それにファストフードもマクドナルドやケンタッキーフライドチキンばかりでなくラーメンや回転寿司や牛丼も世界に大きく広がっています。

アメリカ大衆文化の表現形式は、特に(2)二〇世紀後半の世界の国々には非常に受け入れやすいということがありました。いくらアメリカが政経軍事にわたる超大国といつても、また文化の産業化の力が強大といつても、その文化そのものに魅力がなければ世界に広まるわけではありません。ハリウッド映画やポピュラーミュージック、コカ・コーラやハンバーガーなどの食文化を含めたライフスタイルなどが世界の多くの人に好まれるから広まるわけです。

B、アメリカ大衆文化の③シヨウチヨウのように言われているファストフードは、和食あり中華ありの日本にも広く受け入れられ、最近では中国の北京などでも話題を呼んでいます。それはファストフードという形式が現代の都市生活に非常に適合する形式だからです。忙しい時代になり、核家族になって、特に女性が働くようになると、仕込みに時間がかかる料理は家庭で簡単に作るわけにいきません。必然的にファストフードが入り込んでしまうのです。しかも店構えは、どのチェーンのものも非常に雰囲気オープンです。照明も明るく、看板も大きくてわかりやすい。受け入れやすさはそういうところにもあるわけです。開かれた明るさがそこにあります。(3)それはまたステレオタイプ化されたといえアメリカ文化の特徴でもあります。

C、ハンバーガーもハンブルグ・ステーキをパンに挟んだものですから、その一部はドイツに④ユライシ、アメリカの食文化⑤コユウのものではありません。一昔前に、アメリカの人類学者が「一〇〇パーセントアメリカ的」という論文を書いて、「アメリカ人が朝起きて寝るまでの生活文化を見ると一〇〇パーセント外国からきたものばかりである。ということは、一〇〇パーセントアメリカ文化とは一〇〇パーセント外国からの寄せ集めにはかならない」という皮肉な指摘をしました。アメリカ的なものというと、非常に西歐的に感じられるのですが、西歐だけでなく、世界中のいろいろな文化を取り込み中和させてうまく作り上げているものでした。だからこそアメリカ文化はまったくの異文化圏にも受け入れられやすく、(4)世界に急速に広がっていくことができるのだと思います。

D、現在のグローバリゼーションは、それはアメリカ化という言い方による(5)「文化侵略」批判や、アメリカ文化産業が世界を植民地化しているという、いわゆる「文化帝国主義」批判ですまされるわけにはいかないのです。やはり大衆⑥フベンテキなメッセージを発する魅力的な大衆的な

文化とその産物を世界に提供するからこそ、急速に広がっているのだという事実は認めなくてはならないでしょう。「文化侵略」や「文化帝国主義」をいうならむしろ受け入れるほうを問題にしないといけないと思います。もし製品や商品に魅力がないようなら誰も買わないからです。

アメリカの消費経済とそこに広まる文化のグローバリゼーションの波には抵抗しがたいものがあります。かつてインドのムンバイ(旧ボンベイ)では、人民党のコカ・コーラ追放運動なども起きました。しかし、いまではテリーにもファストフードの店があります。フランスのように、アメリカ映画の輸入本数を制限するなど、アメリカの「文化侵略」に対する防衛策を講じる国もあります。しかしそういう抵抗も効果的ではありません。パリではハリウッド映画からファストフード店まで人が群がっています。

こうしたグローバリゼーションを(6)政治権力で禁じることが難しいでしょう。というのは、情報化の時代には、テレビやインターネットなどの通信伝達手段によってどこに何があるのか誰でも知ってしまうからです。そして同じものをほしがったり同じことをしたくなるからです。そういう消費欲望を起させるところがアメリカ的な文化のグローバリゼーションの強みなのです。

現在のグローバリゼーションは、経済発展による都市の「中間層」の出現と、消費文化の拡大という社会の発展段階との間にある種の対応関係があり、自文化防衛という受け身の政策ではなかなか抵抗できないだろうというのが私の考えです。

**E**、この文化のグローバリゼーションによって、やがて世界の文化が均質化してしまうのかというと、それも違います。戦後、憲法や学校制度に始まり、アメリカ化の影響を受け続けた日本ですが、アメリカから見るとまだ「日本異質論」が出てくるくらい、彼我の文化の違いは⑦イゼンとして消えていないのです。確かに、食生活やファッション、経済や社会の制度まで、グローバリゼーションによって変わるものはたくさんあります。しかし同時に、文化的社会的に残るものは残っています。英語が情報通信の第一言語として世界をオオつていることは事実としても、タイ語もネパール語ももちろん日本語もしつかりと存在しています。アメリカ的なファストフード支配の傾向はあつても、回転寿司もあり、和食の伝統は残っています。それが消え去ると思えません。こういう事実を見ても、私は、それぞれの文化が全て **F** してしまうとは思いません。しかし、他方でそれも楽観的にすぎるかもしれないと感じたりもします。実はこうしたグローバル化の勢いは、人々に自文化への関心を薄めさせ、子どもや若い世代に伝統や歴史についての関心を失わせないまでも弱くさせる働きがあるのも事実だと思うからです。私は、実のところ、日々こうしたグローバル化の中に身をおくことが、限りのない **F** くと人々をかり立ててゆくのではないかとさえ危惧しています。

本来は文化のグローバリゼーションと異文化は必ずしも対立関係にはなく、グローバリゼーションも受け入れながら異文化は異文化として存在するというあり方になるのが一番良いのではないのでしょうか。アジアの都市で似たようなタイプのビルばかり見ると、ちよつと待つてくれ、どうかしてほしい、もつとそれぞれの文化のあやが建築に示されるような都市づくりをしてもいいのではないかという気持ちを強くもつようになることはさげられませんが、まことに個性なき現代アジアの都市づくり、高層ビル化そして生活文化の **F** は残念なことに感じられますが、いまのところこの傾向は止めようがないありさまです。

(青木 保『異文化理解』による。なお、本文に一部変更がある。)

問 1 傍線部①～⑦のカタカナ部分を漢字に直しなさい。

問 2 文中の **A** ～ **E** に入るべきことばの組み合わせとして適切なものを選び、記号で答えなさい。

- |   |          |          |          |          |          |
|---|----------|----------|----------|----------|----------|
| ア | A (また)   | B (また)   | C (ですから) | D (ただ)   | E (では)   |
| イ | A (また)   | B (ですから) | C (ただ)   | D (では)   | E (また)   |
| ウ | A (ですから) | B (ただ)   | C (では)   | D (また)   | E (また)   |
| エ | A (ただ)   | B (では)   | C (また)   | D (また)   | E (ですから) |
| オ | A (では)   | B (また)   | C (また)   | D (ですから) | E (ただ)   |

問 3 文中の **F** に入るべき、「すべてが一樣で個性や特色、融通性がなくなる」ことを意味する三文字熟語を答えなさい。

問 4 波線部(1)の問いへの答えを二十五字以内で、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問 5 波線部(2)について、アメリカ大衆文化のどのような点が「受け入れやすい」のか、二十五字以内にまとめて答えなさい。

問 6 波線部(3)の指示する内容を答えなさい。

問 7 波線部(4)についてなぜそう言えるのか。その理由を二十五字以内で、解答欄にあらかじめ最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

問 8 波線部(5)についての説明として最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

- ア 超大国であるアメリカの文化の強大な産業化の力に飲み込まれること。
- イ アメリカ化というグローバリゼーションに他の国の文化が侵されること。
- ウ アメリカ文化という特殊な地域文化を世界中に押しつけること。
- エ アメリカ文化のグローバリゼーションによって世界の文化が均質化すること。

問 9 波線部(6)について、なぜ「難しい」というのか。その理由を三点、解答欄にあらかじめそれぞれ二十字から三十字で記しなさい。

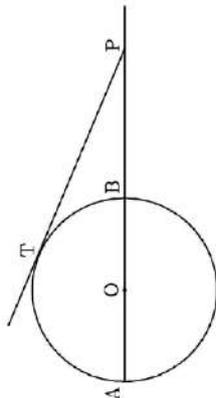
問 10 筆者はグローバリゼーションについて、これからどうあるべきと考えているか。その考えを、五十字以内で指摘し、最初と最後の五字を抜き出して答えなさい。

数学

第2問 (選択問題) 問A, 問Bいずれかを選択し, 次の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問A 箱の中に1から20までの数字を1つずつ書いたカードが20枚入っている。この箱からカードを1枚取り出し, それを箱に戻さなくてもう1枚取り出す。このとき, 2枚目のカードの数字が4の倍数となる確率は  サ  である。また, 2枚のカードの数字の和が偶数となる確率は  シ  であり, 2枚のカードの数字の積が24となる確率は  ス  である。

問B 線分ABを直径とする半径1の円Oにおいて, 線分ABの延長上に点Pをとり, 点Pから円Oに接線を引きその接点をTとする。線分BTの長さが1であるとき, 線分BPの長さは  サ  であり, 線分PTの長さは  シ  である。また△APTの面積は  ス  である。



第3問 (選択問題) 問C, 問Dいずれかを選択し, 次の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C 平行四辺形ABCDにおいて, 辺CDの中点をE, 線分BEを3:1に内分する点をF, 対角線BDを6:5に内分する点をGとし,  $\vec{AB} = \vec{b}$ ,  $\vec{AD} = \vec{d}$  とする。このとき,  $\vec{AF}$  を  $\vec{b}$ ,  $\vec{d}$  を用いて表すと  $\vec{AF} =$   セ  である。また,  $\vec{AF} = k\vec{AG}$  となる実数kの値は  ソ  である。また, 線分AGとGFの長さの比は  タ  である。

問D 第2項が6, 第5項が48の等比数列がある。ただし, 公比は実数とする。この数列の一般項は  セ  であり, 初項から第8項までの和は  ソ  である。また, 初項からの和が初めて3300を超えるのは第  タ  項までの和である。

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問~第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

(1)  $(-a)^2(-a)^3(-a)^4 =$   ア

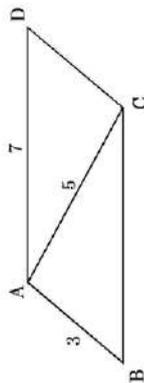
(2)  $\sqrt{(-5)^2} =$   イ

(3)  $\frac{1}{\sqrt{5}-1} - \frac{1}{\sqrt{5}+1} =$   ウ

(4)  $\cos 30^\circ \tan 30^\circ - \sin 45^\circ \cos 45^\circ =$   エ

問2  $x, y$  が  $2x + y = 1$  を満たすとき,  $xy$  は  $x =$   オ  のとき, 最大値  カ  をとる。

問3 次の図の平行四辺形ABCDにおいて,  $AB=3$ ,  $AC=5$ ,  $AD=7$  のとき,  $\angle BAC =$   キ  であり, 面積は  ク  である。



問4  $y = 2 \tan \frac{\theta}{3}$  のグラフの周期は  ケ  である。また  $-\pi \leq \theta \leq \pi$  のとき, 関数yの最大値は  コ  となる。

第4問 次の問いの解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

3次関数  $f(x) = -x^3 + 6x^2 - 9x + 4$  について、次の問いに答えよ。

- (1)  $f(x)$  の増減や極値を調べ、 $y = f(x)$  のグラフをかけ。
- (2)  $a$  を正の定数とすると、区間  $0 \leq x \leq a$  における  $f(x)$  の最小値を求めよ。

数学

第2問 (選択問題) 問A, 問Bいずれかを選択し, 次の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

第1問, 第4問は必答問題である。第2問, 第3問はそれぞれについて1問を選択する問題である。(第1問～第3問の配点は80, 第4問の配点は20)

第1問 (必答問題) 次の各問の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問1 次の式を計算せよ。

- (1)  $(2a^3b)^2(-ab^3)^3 = \text{ア}$
- (2)  $\left(\frac{1}{\sqrt{3}-1}\right)^2 - \left(\frac{1}{\sqrt{3}+1}\right)^2 = \text{イ}$
- (3)  $\sqrt{32} - \sqrt{50} + \sqrt{98} - \sqrt{18} = \text{ウ}$
- (4)  $\cos^2(90^\circ - \theta) + \cos^2(180^\circ - \theta) = \text{エ}$

問2 ある商品を1個につき400円で仕入れ, 売り値を500円にすれば2000個売れる。 $x$ を  $0 < x < 100$ の整数とし, 商品1個につき  $10x$ 円値上げごとに, 売り上げ個数は  $20x$ 個ずつ減少するという。売り上げ金額を  $y$ 円とすると,  $y$ を  $x$ の式で表すと  となる。このとき, 売上金額を最大にするためには1個の価格を 円にすればよい。また, 利益を最大にするためには, 1個の価格を 円にすればよい。

問3  $\triangle ABC$ において, 3辺  $AB, BC, CA$ の長さが, それぞれ6, 11, 7であるとき,  $\cos A = \text{ク}$ ,  $\sin A = \text{ケ}$ , 面積  $S = \text{コ}$  である。

問4 方程式  $3x^2 - 5x + 6 = 0$ の二つの解を  $\alpha, \beta$  とするとき,  $(\alpha - 1)(\beta - 1) = \text{カ}$ ,  $\frac{\alpha}{\beta} + \frac{\beta}{\alpha} = \text{キ}$  である。

問A 袋の中に赤球と白球が5個ずつ入っており, どの色の球にも1から5までの数字が1つずつ書かれている。この袋から3個の球を取り出す。このとき, 取り出した球が赤球2個と白球1個である確率は  である。また, 取り出した球の中に赤球と白球がともに入っている確率は  である。また, 取り出した球の数字がすべて異なる確率は  である。

問B  $\triangle ABC$ において, 辺  $AB$ を3:4に内分する点をP, 辺  $BC$ を5:3に外分する点をQ, 直線  $PQ$ と辺  $AC$ との交点をRとする。このとき,  $\triangle ABC$ と直線  $PQ$ についてメネラウスの定理を用いて, 線分  $CR$ と  $RA$ の長さの比を求めると  である。また,  $\triangle APR$ の面積と  $\triangle ABC$ の面積の比は  であり,  $\triangle RCQ$ の面積と  $\triangle APR$ の面積の比は  である。

第3問 (選択問題) 問C, 問Dいずれかを選択し, 次の  に当てはまる数式または数値等を, 解答用紙のそれぞれの欄に書きなさい。

問C 座標平面上の3定点  $A, B, C$ と動点  $P$ について,  $\overline{AB} = (2, 3)$ ,  $\overline{AC} = (1, 4)$ ,  $\overline{AP} = (t, 2t)$  ( $t$ は実数)と表されている。このとき,  $\overline{PB}$ を成分表示すると  $\overline{PB} = \text{ク}$  である。また,  $\overline{PB}$ と  $\overline{AC}$ が平行であるとき,  $t$ の値は  である。また,  $\overline{PC}$ と  $\overline{AB}$ が垂直であるとき,  $t$ の値は  である。

問D  $a_1 = 1, a_{n+1} = a_n + 3^n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ )で定められる数列  $\{a_n\}$ において, 第5項は  $a_5 = \text{カ}$  であり, 一般項は  $a_n = \text{キ}$  である。また, 初項から第  $n$  項までの和  $S_n$ は  $S_n = \text{ク}$  である。

第4問 次の問いの解答を、過程を含めて指定の欄に記述しなさい。

$0 \leq a \leq 1$  のとき、次の問いに答えよ。

- (1) 関数  $y = |x(x-2a)|$  のグラフと  $x$  軸との交点を求め、そのグラフの概形をかけ。
- (2) (1)のグラフと  $x$  軸および直線  $x=2$  で囲まれた2つの部分の面積の和を求めよ。
- (3) (2)で求めた面積の和の値を最小にする  $a$  の値を求めよ。

■ 第1問

- A (1) 4 (2) 5 (3) 1 (4) 2 (5) 3  
 B (1) 3-2-4-1 (2) 3-4-2-1  
 C (1) 1 (2) 4 (3) 2 (4) 1 (5) 1 (6) 2 (7) 1 (8) 4 (9) 4 (10) 2  
 (11) 3 (12) 3 (13) 2 (14) 3 (15) 3 (16) 4

■ 第2問

- A (1) 2 (2) 4 (3) 1 (4) 5 (5) [1] 3 [2] 1 [3] 2 [4] 4  
 B (1) [1] 3 [2] 2 [3] 1 [4] 2 [5] 1  
 (2) [6] 2 [7] 1 [8] 4 [9] 2  
 (3) [10] 3 [11] 1 [12] 3  
 (4) [13] Because the Japanese people have always been sensitive about impurity.  
 Examples include cleansing the body with hot water immediately after death,  
 and dressing the body with a white kimono.  
 [14] Ancestor worship was introduced to Japan from China.  
 Cremation was introduced to Japan from India.

■ 第1問

- A (1) 5 (2) 3 (3) 2 (4) 4 (5) 1  
 B (1) 4-2-1-3 (2) 3-1-4-2  
 C (1) 1 (2) 3 (3) 4 (4) 4 (5) 1 (6) 3 (7) 4 (8) 1 (9) 4 (10) 3  
 (11) 2 (12) 4 (13) 1 (14) 1 (15) 3 (16) 4

■ 第2問

- A (1) 3 (2) 4 (3) 1 (4) 3 (5) [1] 2 [2] 1 [3] 4 [4] 2  
 B (1) [1] 3 [2] 2 [3] 3 [4] 4 [5] 1  
 (2) [6] 2 [7] 4 [8] 1 [9] 3  
 (3) [10] 3 [11] 1 [12] 3  
 (4) [13] A. The head of the household benefits. He has all the power, and can tell other family members what to do. The heir also benefits. He inherits the wealth, property and power of the patriarch.  
 [14] D. 1. I can control and manage the family property.  
 2. Everyone in the family has to obey me.  
 3. I can decide who gets to marry whom in the family.  
 4. I make decisions about divorces and adoptions.  
 5. I can control where my children live.

国語 総合型選抜入学試験[併願型] 解答

- 問1 ①抽出 ②意図 ③判然 ④網羅 ⑤推進
- 問2 イ
- 問3 科学技術
- 問4 1) その法則は実験によって確かめる 2) 誰がやっても同じ結果が得られる
- 問5 前) 現代技術は 後) もったもの
- 問6 表裏一体
- 問7  
I 専門家の直観と努力による技艺  
II 法則をイト的、体系的、モウラの的に組み合わせて用い、(別解)の法則を意識的にあらゆる組み合わせで使ってみて、
- 問8 エ
- 問9 ウ
- 問10 前) 長期にわた 後) だしている から。

国語 一般選抜入学試験[前期] 解答

- 問1 ①内実 ②覆 ③象徴 ④由来 ⑤固有 ⑥普遍的 ⑦依然
- 問2 オ
- 問3 画一化 (部分点対象) 均質化、均一化、同一化、単一化、一様化、一元化
- 問4 現代アメリ ― は生活様式
- 問5 文化そのものに魅力があり世界の多くの人に好まれる点
- 問6 開かれた明るさ  
(部分点対象) 解答のみを抜き出したものではなく、解答を含んだ表現になっているもの  
[例] 開かれた明るさがある店構え など
- 問7 世界中のい ― ているもの だから。
- 問8 ウ
- 問9  
1 情報化の時代にはどこに何があるのか誰でも知ってしまう から。  
2 同じものをほしがったり同じことをしたくなる消費欲望を起させる から。  
3 経済発展による都市の「中間層」の出現と消費文化を拡大させる から。
- 問10 グローバリ ― が一番良い

■ 第1問

問1    ア  $-x^9$     イ 5    ウ  $\frac{1}{2}$     エ 0

問2    オ  $\frac{1}{4}$     カ  $\frac{1}{8}$

問3    キ  $120^\circ$     ク  $\frac{15}{2}\sqrt{3}$

問4    ケ  $3\pi$     コ  $2\sqrt{3}$

■ 第2問

問A    サ  $\frac{1}{4}$     シ  $\frac{9}{19}$     ス  $\frac{3}{190}$

問B    サ 1    シ  $\sqrt{3}$     ス  $\frac{3}{4}\sqrt{3}$

■ 第3問

問C    セ  $\frac{5\vec{b}+6\vec{d}}{8}$     ソ  $\frac{11}{8}$     タ 8 : 3

問D    セ  $a_n = 3 \cdot 2^{n-1}$     ソ 765    タ 11

■ 第4問

(1)     $y' = f'(x) = -3x^2 + 12x - 9$

$y' = 0$  を整理すると  $-3x^2 + 12x - 9 = 0$  から

$$x^2 - 4x + 3 = 0$$

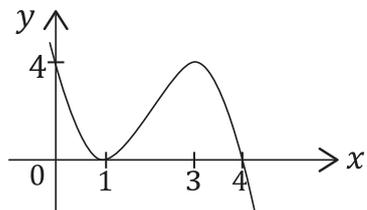
$$(x-3)(x-1) = 0$$

$y' = 0$  となる  $x$  は  $x = 1, 3$ 。よって  $y$  の増減表は次のようになる。

|      |     |   |     |   |     |
|------|-----|---|-----|---|-----|
| $x$  | ... | 1 | ... | 3 | ... |
| $y'$ | -   | 0 | +   | 0 | -   |
| $y$  | ↘   | 0 | ↗   | 4 | ↘   |

このグラフは  $(1, 0)$  を通ることから、 $f(x)$  は  $(x-1)$  で割り切れる。

そこから、 $f(x) = -(x-1)^2(x-4)$  となるので  $(4, 0)$  を通るとわかる。



(2)    
$$\begin{cases} 0 \leq a < 1 \text{ のとき、} f(a) = -a^3 + 6a^2 - 9a + 4 \\ 1 \leq a < 4 \text{ のとき、} 0 \\ 4 \leq a \text{ のとき、} f(a) = -a^3 + 6a^2 - 9a + 4 \end{cases}$$

■ 第1問

問1 ア  $-4a^9b^{13}$  イ  $\sqrt{3}$  ウ  $3\sqrt{2}$  エ 1

問2 オ  $y = (500 + 10x)(2000 - 20x)$  ※展開など、式の変形・整理可 カ 750 キ 950

問3 ク  $-\frac{3}{7}$  ケ  $\frac{2\sqrt{10}}{7}$  コ  $6\sqrt{10}$

問4 サ  $\frac{4}{3}$  シ  $-\frac{11}{18}$

■ 第2問

問A ス  $\frac{5}{12}$  セ  $\frac{5}{6}$  ソ  $\frac{2}{3}$

問B ス 4 : 5 セ 5 : 21 ソ 14 : 5

■ 第3問

問C タ  $(2-t, 3-2t)$  チ  $\frac{5}{2}$  ツ  $\frac{7}{4}$

問D タ 121 チ  $\frac{1}{2}(3^n - 1)$  ツ  $\frac{1}{4}(3^{n+1} - 2n - 3)$

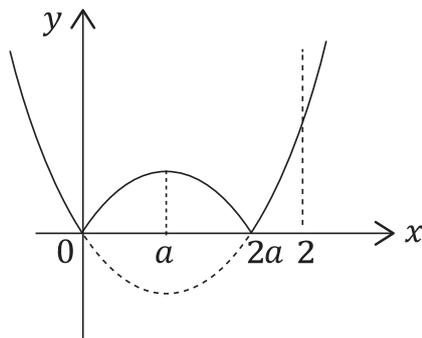
■ 第4問

(1)  $0 \leq a \leq 1$  より  $0 \leq 2a \leq 2$

$x(x - 2a) = 0$  のとき  $x = 0, 2a$

これより  $x$  軸との交点は  $(0, 0), (2a, 0)$

$$y = |x(x - 2a)| = \begin{cases} x(x - 2a) & (x < 0, x \geq 2a \text{ のとき}) \\ -x(x - 2a) & (0 \leq x \leq 2a \text{ のとき}) \end{cases}$$



(2)  $\int_0^{2a} (-x^2 + 2ax)dx + \int_{2a}^2 (x^2 - 2ax)dx$

$$= \left[ -\frac{x^3}{3} + ax^2 \right]_0^{2a} + \left[ \frac{x^3}{3} - ax^2 \right]_{2a}^2$$

$$= \frac{8}{3}a^3 - 4a + \frac{8}{3}$$

(3)  $f(a) = \frac{8}{3}a^3 - 4a + \frac{8}{3}$  として、

$$f'(a) = 8a^2 - 4 = 4(2a^2 - 1)$$

$f'(a) = 0$  となるのは  $a = \frac{\sqrt{2}}{2}$  のときだけである。(  $0 \leq a$  による )

$f(a)$  の増減をみると

|         |   |     |                      |     |   |
|---------|---|-----|----------------------|-----|---|
| $a$     | 0 | ... | $\frac{\sqrt{2}}{2}$ | ... | 1 |
| $f'(a)$ |   | -   | 0                    | +   |   |
| $f(a)$  |   | ↘   | 極小                   | ↗   |   |

$\therefore a = \frac{\sqrt{2}}{2}$  のとき、最小

## 進学相談会



### 開催場所や日程は大学HPをチェック!

進学相談会では次年度入試に関するお知らせや本学教職員が受験生の皆さんの質問に個別にお答えする相談コーナーのほか、さまざまな資料の配布を行います。また、美術系の相談会場では入試参考作品の展示も行います。参加無料、事前申込も不要です。保護者の方もぜひご来場ください。

[www.tuad.ac.jp/adm/counseling/](http://www.tuad.ac.jp/adm/counseling/)



## オープンキャンパスに参加しよう!

2020年 8月1日(土)・2日(日)

合格者である在大学生や教員と話ができる「相談コーナー」や、入試の対策講座など、入試の準備としても、たいへん有益なイベントです。受験を考えている3年生・受験生も、大学のことをよく知らない1・2年生も、この機会をお見逃しなく!

※実施について変更になる場合がありますので、必ず下のQRコードから大学HPをご覧ください。



### @tuad と友だちになろう!

芸工大の公式LINEアカウントに登録すると...

- お得なイベントクーポンがもらえる
- 芸工大の最新情報をゲットできる

LINEアプリの友だちタブを開き、画面右上にある友だち追加ボタン>[ID検索]をタップして、登録してください。



平面構成



水彩画



油彩画



2020年度まで  
実施していた入試科目の

## 過去問題と解答を公開中!

手のデッサン、静物デッサン、平面構成、ショートストーリーなど、2020年度まで実施されていた科目の問題と参考解答を公開しています。パソコンのほか、スマートフォンでももちろんOKです! 下のQRコードを読み取ると簡単にアクセス可能です。

[www.tuad.ac.jp/adm/test\\_sample/](http://www.tuad.ac.jp/adm/test_sample/)



手のデッサン



静物デッサン



